明治三十九年八月十一日第三種郵便物認可
京城日報
THE KEIJO NIPPO　大正九年十二月十六日　(木曜日)　第四千七百二十六號　(一)

京城日報　軍備撤廢問題

戰後列國は、事實に於いて軍備の擴張に汲々として居る。殊に歐洲に在つては、列國の對露政策が歩調の一致を缺ぎ、北歐一帶の風雲、依然として險惡を極めつゝあるに加へ、希臘の政變、土耳古に關する問題等、近東政策に就いても幾多の失敗を演じ、希臘においては獨逸の勢力俄然として復活し、土耳古は殆ご赤化して、嚢に獨立を承認せられたアルメニアに於て慘澹なる虐殺が行はれた樣な今日に、ゼネヴァの國際聯盟總會は、軍備撤廢といふ如き太平の長夢に耽つて居るといふことは、如何にも矛盾した現象といはなければならぬ。

元來軍備撤廢といふことは、何邦こても主義に於て之に反對するものある筈がない。現在國費の大部分を消費しつゝある軍備を撤廢し、若くは之を或る程度まで縮小し、其費用を生産若くは他の文化的事業に轉用し得こせば、其の國民の利益こ幸福こを増進する幾何なるや、何人も之に疑ひを容れるものがない。然しながら現世界に於ける人類は、何の方面から見ても、まだ〳〵丸腰になつて相互の交際を結ぶ程に上進しない。殊に國こ國この交際こなれば更に陰險反尺の傾向を帶び、最後の歸結は『腕力即ち權利』に陷るこご普通の狀態であつて見れば、軍備撤廢などいふ理想の實現は前途極めて迂遠こいはなければならぬ。少くこも國際聯盟の力が克く禍亂を未然に防止し得る程度に達した後でなければ、容易に之を口にすべきこごでないこ吾等は信ずるものである。然るに國際聯盟其ものが首唱者たる米國の加入を得ず、又それこ親密なる接觸さへ保ち得ざるに就いて、甚だしく失望悲觀を懷かしめある今日の狀態では、軍備の撤廢の、裁制のこいふことは、例の平和病者の囈語で、たこひ之が決議こ爲つて現れたるにしても、半文錢の價値あるものでないこご勿論である。本來からいへば軍備の撤廢裁制などいふことは、聯盟の提議者たる米國其れ自身から實行すべき筈であるのに、米國は聯盟加入を肯んぜざるばかりでなく、十六隻の建造を急ぎつゝある樣な、反對の方向に進んで居るのは、國際聯盟を侮蔑するばかりでなく、又之に一大脅威を加ふるものである。我が石井大使が米國が軍備擴張を停止せざる限りは、我が日本も既定の方針を變更する能はずこ聲明したのは、誠に當然のこごで、異議を容れるものがあらうこは思へない。然しながら我邦の軍備擴張を以て、將來に對する野心を指議するものであるこいふ樣に見られるのは、實に迷惑千萬のこごで、吾等の平和を熱望するは決して何人の背後にも落るものでない。故に軍備を整へるは國家自ら衛の必要に應ずる以外に及ぶものでない點は能く諒解してもらはなければならぬ。殊に西伯利、滿洲の治安の秩序を保つ上に於て、即ち是等の地方に棲息する內外人の財産生命の安寧を保障するに就いて大なる兵力を要することは、現に事實の證明する處である。即ち武裝的平和こいふ孫語は、今の極東に於いて止むべからざる手段であるこごを、吾等は此際に於いて特に言明するの必要あるを感ずるのである。

軍備制限と日本　石井代表の反對意見

昨日の軍備制限委員會は軍備の擴張をせざる事を提案したり其の提案は英國其他多數聯盟國の贊成を得たるが日本代表者石井子爵は其の意見を徹されたるに就き次の反對意見を發表したり日本は特に聯盟總會の決議に服くを欲せざるも某大國こ特殊關係ある間は軍備制限に同意する能はず(ゼネバ十二日發電)

新協約が成立しても　排日法は嚴行する　加州知事の通牒內容

加州知事スチーブンス氏は國務省に對し先般加州の一般投票に於て通過したる外人土地法即ち所謂排日土地法に關する通牒を送付したるが其の一部分に於て氏は左の如く述べ居れり

加州外人土地法は贊成六十六萬八千四百八十三票反對二萬二千二百八十六票の多數を以て通過成立したるものにして爰に州知事は州憲法に基き十二月十日を以て該法律を施行することを通告し而して貴下(國務卿コルビー氏)が是等の事實に對して注意を拂はれむことを求むるものなり然れども予(スチーブンス氏)は目下日米兩國政府間に進捗中なる商議を妨礙せんとするの念は毫頭是無きのみならず在留外人中一定の行議者に對して市民權及び其他の權利を附與することの協定が成立したりこするも是れに依りて毫も搖くものに非ず只併し予は加州が制定したる同法律は嚴重に施行せんことを期するものなり而して予の手許には在留日本人が過去數ヶ月間に亘りて宏大なる農地を購入し居れりとの無數の報告が集まり居るが故に是等に關しては必ずや幾多の訴訟頻出するならむと期待するも其の時に際しては州檢事總長並に國際裁判所檢事は全力を盡して本法の嚴正に遺憾なきを期するやう努むるならむと思考し居れり尙加州民一般の輿論は土地の州權に對する聯邦政府よりの干渉に對しては其の如何なる干渉たるを問はず極めて敏感になり居れる如く思はる(米國電報)

定例閣議

定例閣議は十四日午前十一時より首相官邸に開會原首相以下各大臣出席六三問題に就て協議決定したる左記事項を決定して午餐を共にして午後一時半散會したり(東京電話)

一、朝鮮軍々法會議法案
一、關東軍々法會議法案(外數件)

時事小感(二二)　三笑生

◎內鮮人の交際に就て、特に內地人の注意すべきことがある。ツイ數日前にも、或る會合の席上、之が原因で、一大論爭が持ち上り、折角愉快に一夕を送るべき筈であつたものが、頗る不興の裡に散會せねばならぬこと、なつたこ云ふことを聞いた。其の是非曲直は姑く措き、互に口角沫を飛ばし、延いては是れが內鮮人間の感情問題こなるのは、誠に遺憾の至りである。然も此の事は、吾人が少しく注意を拂へば、何でも無いことであるのである。

◎一體吾々內地人は、餘りに氣が短い。餘り吞氣なよりは、勿論宜しいには相違ない。又今の時世は呑氣にすべきでもなからうが、人を見て法を說けと云ふこともあるから、只自分流ばかりで遣られても又困る。何ぞと云へば、內地人が朝鮮人こ、何事か對談する場合に、相對の言葉がまだ半分も終らぬ內から、モー判つた、ヨク判つたこ云つて、宜い加減に聞き棄て、自己の主張のみをしやうごするこごである。此は判り切つたことを何も仕舞まで聞く必要はないこ云ふのであらうけれども、如何にも馬鹿にされてゐるやうに感ずるのである。吾れ〳〵が通譯をして遣る場合にも、よく經驗することである。が、相手の話を半分も聞かない內に、早合點して、『イヤ能く判つた、モウ其れでよい』などこ言ふ無禮な連中もある。斯かる場合には中間に取次ぎ役を勤めて居るものが、先づ猜疑されるのであるから、是が相手の若にそうごこ知れたら、決して不快を感ぜずには居られないであらう。

◎要するに此れば、吾々內地人が、狹量にして性急な處から來るのである。朝鮮人が、內地人に對して常に島國根性こ云つて、攻擊するのは、或は此邊の消息ではあるまいか。吾々內地人が、日韓併合の本旨に基き一視同仁の大義に遵ふて、東洋……

東部西伯利の土著民族(十三)　帝國大學講師　鳥居龍藏氏

然うして此の地方に居る朝鮮人は三代も前から移住して居る爲に彼等の多くは其本國が如何なる狀態に在るかを知つて居ないこ云ふこごを聞くが彼等は露國の學校に於て露國の文學を習ひ而して殆ご露國的生活をして居るのであるから其本國の事情に疎いこ同時に彼の所謂不逞鮮人に其の虛に乘ぜられて惑されるのも亦無理のないこご、思ふ。但し西伯利地方に在住して居る鮮人は東西兩間島地方に在住する者よりも一般に露國的教育を受けた知識階級が多く隨つて其の態度の紳士的である者が多いのも事實だ。元來政治上に於てこそ鴨綠、豆滿兩江は其の國境を爲すものであるけれども人種學上、地理學上即ち朝鮮人の分布狀態から謂ふこ鴨綠、豆滿兩江には決して其の意味に於て國境こ云ふこごは出來ない。こ云ふのは鴨綠、豆滿兩江の對岸には極めて多くの朝鮮人が存在して居て朝鮮の道にすること殆ご四道若くは五道に當る位の人口がある。其處で烏蘇里から東西兩間島及び松花江分水嶺にかけてニコリスク方面をも含めたものを朝鮮人の分布狀態こして見るこ其處は非常に深い意味が生じて來る。此の點は學問上尙に大切なる點であつて同時に又朝鮮人が何んこ謂うても其の一擧一動は悉く皆我國に關係するのであるから若し十分なる理解がなかつたならば禍根は必ず我國に及んで來るに相違ない。

次に尙私が述べて置きたいこごは勘察加のこごである。近頃の新聞に米國の或一會社は露國勞農政府こ契約して何ヶ年間だか其の土地の權利を獲た然るに米本國政府は勞農政府の存在を認めて居ないから折角の契約も無効であらうこいふこごが報ぜられてあつた。此の日本の新聞紙が報じたこごは洵に不得要領であるが私は特に米國こ勘察加この問題を學問上大に注意したいこ思ふ。元來米國が勘察加に注意して居ることは決して今日に始まつたとでなく隨つて其の由來する所は相當に古く其の根柢も總て學術的であつて、決して一二投機師の謂つたとではない。夫れが然うして分るかこ云ふこ米國の教育を中心こして太平洋探險協會こでも云ふか兎に角然ういふ一の協會が設けられて然うして米國のアラスカ半島からかけて矢張り米國の北方沿岸こ勘察加州こ其沿岸べーリングを中心こしての研究が組織になつて居るかこ云ふこべーリング海峽を中心こして米國の方はブリテス、コロンビヤからアラスカ對西伯利勘察加この關係の調査をなすもので恰もべーリングを一の湖の如く見て居る。成程然うであらう米國の立場から謂ふこべーリングこいふのは米國の北部に餘程接近して居て米國の北部に在るセントローレンスマシュルこいふ島こ殆ご繋がつて居ること恰も朝鮮こ內地この間に於ける對馬の如き位置に在る彼のエスキモーの如きは、木舟を以て常に往來して居る。故に勘察加は米國こ至大の關係がある。

侯鯖錄　こしわすれ　南山樵人

忘年會が隨時隨處に催される今日此頃、久しく絕を止めた侯鯖錄を復活して、一番古いところを調べて見るこ、忘年會即ち昔時の『こしわすれ』こいふとは、本邦固有の風俗ではなく、支那から輸入されたもの、樣に思はれる。蘇東坡の『歲の暮』に觀友相集まりて歡宴す、之を忘年こ謂ひ、又互に相饋遺して以て歲を賀すこある。是より其の別でもあるが、『淮の人、家人を以て聚會するを分歲こいふ』こある。又東坡集に別歲の詩があり。其の序に『歲晩相與に饋問するを饋歲こ爲す、酒食もて相邀ふを別歲こ呼び、除夜に至り旦に達するまで眠らず、之を守歲こ爲す』こ。是は蜀、今の四川省邊の風俗だそうである。其詩は東隣酒初熟。西舍彘亦肥。且爲一日歡。慰此窮年悲。…

居の歲晩物の詩にも『田婦有佳獻。潑散新歲餘』こいふがある。本邦で年忘れの宴は何時頃から行はれたか詳にし得ないが、年中故事要言に『十二月下旬の內は年忘れこて父母兄弟眷屬を饗すとあり。是は一年の間、恙なく過ぎ來たるを喜び祝ふ意なり』こある。蓋し德川時代から盛に行はれたのであらう、古き歌にも俳物にも此事見ゑない。其の『こしわすれ』こいふは一年中の惡しきこご不祥なるこごを忘れるこいふ意であらう

高秋吟(第二十回)　大正九、十一、六

雁

○暮情
苦を出し人の身丈や雁の月
霜重く動ける潮や雁日
○蘇城
井戸温く、汲日一雁の渡りけり
雁見よと抱ゝ子に雁消ゆるまで
○俚人
雁鳴くや冷か仮かなる夜の火桶
雁の高さを知らずに居る水汲女
○紫光
雁の月にさゞ波立てゝ水田かな
○無月
雁の上の月をつく雲の長さかな
○草緑
川に向けて窓の干物や雁の棹
○狹青
焚き物に庭の手狹よ渡る雁
○迦南
雁鳴くや暮色に白き欄タオル
○蝸牛
初雁や船客に振る宿提灯
雁飛ぶや日色茜す橙黄子
雁高し潟をだや[illegible]に干潟草

商業登記公告

[illegible]
右大正九年十一月二十九日登記
[illegible]
右大正九年十一月三十日登記
[illegible]
右大正九年十二月一日登記
[illegible]
右大正九年十二月二日登記
[illegible]
大正九年十二月六日登記
京城地方法院

主婦之友

大評判の雜誌　新年特別號

家業に成功した夫婦奮鬪美談

◇貧乏世帶から百萬圓の會社となる迄の七轉八起の奮鬪記…(ふじの)
◇田舍から…に若夫婦が帝都一流の商人となる迄の奮鬪譚…(ふみを)
◇夫婦二人で炭礦坑夫となつて家運を挽回した奮鬪の思出…(千代)

◇大石良雄夫人の實說物語(歷史小說家として名高き碧瑠璃園先生が親しく遺跡調査の上執筆したる苦心の作)…碧瑠璃園
◇米國で生活難と戰ふた經驗(一ヶ月の普通家賃三四百圓する米國の生活難に處した經驗で我國主婦の好參考)…古谷夫人
◇肺病の冬期養生は如何すべきか(肺病者の一番恐るゝ冬期は却て療養上の最好適期で本誌には其詳細な養生法を發表)…原醫學博士
◇如何にして結婚難を解決すべきか(種々なる事情で結婚難に惱む男女の煩悶を解決した實際的意見で有益なる讀物也)…綱島佳吉
◇中學校女學校入學受驗の準備秘訣(東京一流の中學校女學校の入學試驗受持教師の話や試驗を心得た人々の談)…本誌記者

五十名士の意見を發表　日本の婦人參政權問題
近く本誌…

◇奇蹟的效驗ある沃度療法(特に婦人諸病に效驗ある新發見の沃度イオン療法の原理と應用を詳細に發表す)…ドクトル木村
◇赤坊を育てる母親の心得(毎號評判の育兒の心得で本號には特に母乳代用榮養品に就て有益なる心得を發表)…小兒科醫 竹野
◇胃腸病に效驗多き整體術(此頃大評判の新療法整體術で胃腸病を治療する方法を詳細に說明發表す)…整體術家 山田信
◇舶來茸シャンピニオンの栽培法(四季何時でも出來る松茸の如き風味佳良の舶來茸の詳細なる栽培法で副業に適す)…川村
◇(婦人)情話　女優都紀子の行方(此頃ふと行方不明となつた女優の數奇を極めた半生の涙を誘ふ一篇の哀話)…山中

新年特別附錄　大正十年家庭重寶記

小さな家庭百科全書として毎年大評判の新年附錄『家庭重寶記』は特に編輯に苦心して出來上りました。小形ながら實本であります。內容は例によつて最寶無二のものばかりで◎羽織袖丈の加減◎豆腐御飯の炊き方◎美味しいソースの作り方◎赤飯の色をよくする方◎水餠の貯へ方◎鰻魚の蒲焼し法◎簡單に出來る美顏術の仕方◎化粧くづれのせぬ白粉のつけ方◎シミやソバカスのシミを取る法◎寒い時の化粧の仕方◎鼻の化粧の仕方◎絹布の洗ひ方◎白メリンスの洗ひ方◎毛織物洗ひ方◎ガラス器の磨き方◎百日咳の妙藥◎便秘の妙藥◎タムシの妙藥◎喘息の特效藥◎凍傷の妙藥◎乳の出る妙藥◎白帶下の妙藥◎其の他諸種百數十種で此の一冊さへおけば其の便益は非常なものがあります。……特に附錄だけ御入用の場合は一冊十五錢を要します。

自分で自分の運勢がわかる　大正十年運勢吉凶早見表
新しい大正十年に於ける皆樣の御運勢は好いでせうか惡いでせうか。一月から十二月迄の月々の運勢は申す迄もなく、一生の運勢もわかります。…

◇不思議に上達する書道の秘訣…本誌記者
◇趣味と實用を兼ねた素人彫刻…藤井達吉
◇寫眞鑑定婦人の運命判斷…船井梅南
◇東京で新流行の束髮の結ひ方…婦人記者
◇女兒用の新式外套の仕立方…並木歸郎
◇可愛らしい少女帽子の作り方
◇金のかゝらぬ上品な身嗜秘訣
◇勅題に因んだ盛花の活け方…小原
◇寒い時に喜ばれる簡單な料理
◇婦人の美容理裝問答

結婚問題に惱む若き男女の告白

人知れず結婚問題に惱む若き男女が赤裸々に告白した煩悶に對し一々記者が解決した意見を附して發表したもので男女共通の大讀物です

◇社會に排斥をされる前科者の結婚に對する悲痛なる惱み…(T)ユーゴーの『ミゼラブル』の主人公ジャンバルジャンに似た前科者たる一青年が社會の冷酷に泣く涙の告白
◇親達の猛烈な反對に遭ひながらも戀を遂げんとする惱み…(つゆ)遂げられぬ戀の爲に幾度か家出をし幾度か自殺を企てた白熱的戀の悶えを訴へた非常なる處女の血涙の告白
◇釣合はぬ縁とて親達に反對されながらも忘れられぬ戀仲…(MY)親達に反對されればされる程益々募る若き男女の熱愛を如何う解決したらよいかと泣いて訴へた涙の告白
◇親の義理を立てるか自分の戀を通すかに悶ゆる私の煩悶…(京)親の義理を立てゝ嫁する事は自分が死だし自分の戀人の許へは親が許さぬ爲日夜煩悶する一處女の告白
◇親の犧牲となつて嫁した戀人を忘れることの出來ぬ惱み…(久雄)互に愛してゐた婦人が親の犧牲となつて金滿家の妻となつたのを思ひ切る事の出來ぬ一青年の告白

渡邊霞亭　長篇小說　燦く星

若き男爵松浪時彌と其の婚約中の愛人初枝との仲は時彌の親友湯淺八郎の戀慕の爲に思ひがけなき波瀾を生じた。愛の女神の嫉みを受けた若き男女の戀の成行は如何に。見よ約三十頁の特別長篇小說を(三色版繪入の主人公時彌と初枝の挿畫は口繪として卷頭に添ふ)

◎諧謔小說　珍太郎日記(大評判の珍太郎日記の續きを掲載します誰でも笑はずには居られない天下一品の讀物)…佐々木
◎探偵小說　埋れ木(給仕人の探偵小說で事件の發端は變裝したる若き一貴婦人の身の上話から始まります)…岡本

◎右の如き充實した記事を滿載せる新年號は附錄共にて僅に特價金六拾錢(送料三錢)▲半年前金貳圓六拾錢▲一年前金…
東京神保町　振替三二三三七八六番　東京家政研究會

聯盟總會に於ける 日支の反目
支那の理事會加入問題に關して

一般組織委員會にて聯盟理事會に支那を加へんとする問題に關し約三時間討論行はれたるが其爲日支兩國の衝突は非常に顯著となりたり即ち日本は支那をして理事會の一員たらしむる事に公然反對の聲言はなさゞりしも之に反對し居れるは控室の空氣より見て明かなり支那の理事會員となるは一般に豫想されし所なりしが事實は顧維鈞氏の動靜即ち個人的勝利に外ならずはじめ一般組織委員會は顧維鈞氏の個人的大國より成る理事會員以外の四名中一名は亞細亞の一國より選擧すべしとの案を十二對十三にて可決し總會は原案を理事會四名の內一名は歐洲又は亞米利加以外より選擧する事に修正し過半數を以て可決したり顧維鈞氏は山東問題の提出は未定なるが或は十八日頃提出するやも知れずと語れり（ゼネバ十一日發電）

委任統治案持越し
日英交渉開かれん

赤道以南の前獨逸領諸島に對する濠洲の委任統治權及サモア島に對する新西蘭の委任統治權に關する日本及濠洲間の暗礁は今や殆ど破壞する能はざるものゝ如く其の結果今回の聯盟總會に於ても委任統治問題に關しては全然手を染めず此の儘來年迄持越すこと、なるべきが日本は此の問題を直接英國に對し同盟國の一としての日本の要求と英國殖民地の要求との間に何等かの決定に到達すべく盡力せむことを望みつゝあるは一般に知らるゝ所なり（東京特電）

軍備制限案內容

石井大使が某大國が軍備を擴張しつゝある間日本は同國と特殊干係ある限り軍備制度に同意し難しと言明せる所謂軍備制限案なるものは聯盟各國は千九百二十二年及二十三年の二ケ年間軍備の擴張をなさゞるを要すと云へるものなり（ゼネバ十二日發電）

軍備撤廢の順序
但し其の實行は疑問

軍備撤廢委員は三段の順序を踏んで即時之を實行せんとするも其實行困難なり而して聯盟總會の軍備協同委員會を試みんとする方法案は左の如し（ゼネバ十一日發電）

一、各國共に今後軍備の擴張を行はざる協定を遂げ
二、各國とも漸次現在軍備を縮少せしめ
三、海岸の偵察事務に必要なるものを除く外一般の軍備を全廢すべし

亞國の叛逆に同情

英領南阿聯邦代表ロバートセシル卿は瑞典代表フランタンカル丁抹代表ナスセン博士と共に西獨然丁叛逆運動に關し同情の意味を表示したるも獨逸に對し從來に於ても穩和なる政策を執り且獨逸の其の新生活に反對するこ主張せるが如くベルサイユ條約に基づく義務を回收すべく多分盡力すべしと傳へらる（巴里九日發電）

和蘭ユーゴーの斷交

和蘭ユーゴースラブ間の國交斷絕し和蘭は其の公使を本國に召還したり和蘭が斯の如き行動に出でたるは和蘭政府が此れ迄屢々として受けたりし侮辱の結果なりと同國外務省は宣言したり（海牙十三日發電）

支那側非を悟る
尼港事件交渉進捗

支那政府が尼港事件の協同判定に對し異議を申立て來たりしことは既報の如くなるが其の後蘭外交總長の態度大に改まり交渉順調に進捗しつゝあれば近く解決を見るに至るべし（東京特電）

先月氣象概況
京城測候所調査

…つて例年の常事に見るが如く低氣壓の通過頻繁なる大陸高氣壓…越月した…氣壓…七六四、〇…高きこと〇・…に際し七七二、三耗に昇り低氣…は山東半島に現れたる低氣壓…の九日半島中部を橫斷して日本…年と大差なく平年より〇、七米…六、六度を超ゆ過去十三年間未…突弱かりき而して月中の…は曾有の…治四十四年の一二、四、九度より…六日少きも二日を算するを通例…

造幣廠を抵當に
日本から借款するとの說

上海銀行公會は十二日附北京財政總長に宛て『天津造幣局を抵當として日本より借款する說あり輿論沸騰す事實は果して如何』この質問電報を發せり（十四日上海發電）

米支新借款成立
新總理天津行の土產

新總理は米國商人と天津にて一千萬元の借款を締結し十二日受事終了したるを以て十三日財政總長と共に歸京せり（十四日北京發電）

新銀行團成立通告

日英米佛四國公使は本日支那政府に新銀行團の成立を通告する事に干し協議する所ありたるが意見の一致を見たれば直ちに案文を作製し各本國政府の開始を得て支那側に通告するに至るべし（北京十三日發）

二品除外
滿洲防穀令

防穀令一部除外の交渉は張作霖の承認を得て小麥及麥粉二種の無條件撤廢を以て解決し張作霖氏は北京政府に打電せるに依り近く右二品削除を發表さるべし（奉天十四日發電）

楊子江航路開始

昨日上海日本商業會議所役員會に於て楊子港上流航路開始建議案を通過し外務省に建議案を提出したり（十二日上海發電）

軍法會議
改正の要點

陸軍軍法會議改正案は愈々來る第四十四議會に提出すべきが改正の要點は從來の秘密審理を公開すると共に一審制なるを覆審制となし上告を許す事となり從來一も被告に有利なる制度なかりしを改正すると共に辯護士を許可することせり（東京發電）

臺灣律令權
議會に提出

臺灣律令權に干する問題は十四日の定例閣議に附議せられ臺灣に施行する法令に關する法案の決定を見たるが該法案は來る第四十四議會に提出せらるべし（東京發電）

豫算內示會
不必要論

豫算內示會は例年十二月二十日前後開會せらるゝに就き十四日の定例閣議に於ても之に關して協議する所ありたるが閣員中には豫算內示會は無意味なるを說きて其不必要なるを唱ふる者ありて決定するに至らず（東京發電）

國調發表期
來る廿三日

全國人口數は國勢調査速報を以て全部に亘り來る廿三日頃發表せらるゝ事に決せるが右の內殖民地に屬する臺灣樺太より調査報告未到著せざれども既に報告書到著せる朝鮮南洋青島の分丈けを一括して何等かの形式に依り近く發表するに至るべし（東京發電）

山公後藤男を說く
特使を以て

後藤男の東京市長就任問題は、急大要素となり原首相の力に待つ事となりしが更に甲田藤山谷の二氏山縣老公を訪ひ市政紛糾の此際後藤男の就任を得ざる時には市政は暗黑となり到底收拾し難きに依り公の御盡力を願ふと述べたるに公は直に原首相に男の就任を懇願する樣にと特使を派したり（東京發電）

新錦鷄間祗候
國分三亥氏

元朝鮮總督府高等法院檢事長國分三亥氏に對し十三日左の如く

錦鷄間祗候被仰付 正三位勳一等 國分三亥

新借疑團の米國代表者
日銀總裁訪問

米國對支借款團代表者ラモント氏の紹介に依りスチーブンス氏は十一月井上日銀總裁を訪問し十三日も引續き訪問したるが井上總裁は席上支那に於ける我が重なる事業家の代表者たる東亞興業の白岩氏、日清汽船の小久保氏、久原鑛業の西氏等を紹介し各國一致して支那の開發に努むべき旨議合する所ありたり（東京電話）

全國記者協會
發會式擧行

相互救濟の趣旨を以て企畫せられたる全國新聞記者協會は愈々十三日午後五時より衆議院內俱樂部に於て開催出席者約二百名野澤氏を座長に推し規約草案其他を討議したるが議論百出容易に決定せず結局委員を選して一先づ休會委員長には伊藤一郎氏を推し夫れより伊藤委員長より委員會の經過報告あり此際小異を捨て大同に就くが最も妥當の處置なりとて規約…

三艦進水
秋風と木曾

長崎三菱造船所にて建造中なりし輕驅逐艦秋風（千三百四十五噸）は十四日午前十時の滿潮時を以て進水し次で輕巡洋艦木曾（五千五百噸）も同十一時を以て無事進水を了せり（長崎發電）

更に撤兵要求
支那から日本へ

支那政府は琿春事件の交渉に關し十三日更に胡駐日公使に宛て左の二項により日本政府と交渉すべしとの訓電を發せり（北京十四日發電）

一、支那政府は吉林黑龍江兩省內に於ける匪徒を驅逐して居留民の保護に膺るべければ日本は速かに全部の撤兵を行はれたし

二、破壞されたる領事館の損害は支那政府より賠償し其主犯者は速時逮捕して處罰すべければ日本政府は今回の出兵に依り支那居留民の受けたる一切の損害を賠償せられたし

省議會撤兵運動
北京へ運動委員派遣

吉林省代表者四十名は十二日省議會に於て開局の日本兵撤退促進運動を開始し四名の上京運動委員を選定し極力撤兵運動を爲す事を協議せり（長春十三日發電）

各地選擧結果
道評議員候補

七票金丙德氏二十六票の順序なり（裡里）

全州 道評議員選擧投票は十日午前十一時公會堂に於て開票したるが其の結果左の如し（重複の誤あるも既報の分に誤りあり訂正す）
八十九點 山田彥光 八十九點 貞徽茂 ▲八十六票 貞賀 ▲八十五點 …▲六十六票 … ▲五十 …七十票 朴…

益山 道評議員の選擧は激烈なる競爭の結果金…氏八十四票にて當選し次點は俳桐和三氏三十…

鎭海 道評議員候補者當選者左の如し 大坪善工門▲徐源▲洪光珠▲金寶議▲裴錫振

公州 道評議員選擧結果左の如し（公州）早川分二（一〇四票）

天安 道評議員選擧結果左の如し（天安）具滋龍（五五票）

大田 道評議員選擧は十二日大田郡廳に於て開票したるが其結果左の如し 閔遇淡（二六票）宋憲翼（一四票）

燕岐 忠南道燕岐郡に於ける道評議員選擧の結果如左（鳥致院）徐日東（四二票）

既定公債年割額
更に六百七十萬圓を要求

朝鮮十年度の既定公債年割額は合計二千百五十七萬六千餘圓なりしが總督府は今回大藏省と接渉の結果新たに六百七十五萬圓を增加要求するに決したり內六百五十五萬圓は鐵道經費の物價騰貴並に改良費を含むものにして他の二十萬圓は仁川稅關工事に要する物價騰貴の增加なり右の外煙草專賣創業の前公債又は借入金に依るもの七百二十四萬圓餘は本年度豫算に計上せず交附公債の形式に出づるものもあつて細目は猶講究中なり右諸公債及借入金を合算する時は三千五百五十餘萬圓となり此の內約二千五百萬圓を一般募集と爲し他は朝鮮銀行にて融通せしむるに至るべしと（東京特電）

取引所稅
仁取及仲買人に賦課か

東京電報に總督府豫算査定の結果取引所稅を新設して取引所に賦課すべしと報じ來れるが現在朝鮮に於ける取引所は仁川米豆取引所以外に京城その他の主要地米穀現物市場あり京城に現株市場あり更に各地より取引所の願出もある矢先なれば果して取引所稅の賦課の如何なるものなるかは輕視すべからざるものありとて之に關し

田中商工課長は語る

東京電報で新聞で見て初めて知つた程ですから未だ何も知りません然し內地にも存在する稅目ではあり殊に仁川取引所の如き年六七割の配當を爲し得るものに賦課するのは今日の總督府財政上止むを得まいと思ふ。廢稅減稅の當初は全く取引所稅は無かつたが査定の場合に取引所稅案が出て東京へ査定を送る前に此計畫が在つたのは事實である。然し仁川の米豆取引所に賦課するものらしい又取引所稅の爲に取引所を許可新設するなどは政治の逆轉であるから絕對にあるまいと思ふ然し稅に關する詳細は稅務課で無ければ判明しない

更に財務局の某當局は語る

よく記憶してゐないが此取引所稅は取引所に賦課するものと仲買人に賦課するものとの二種で取引所の純益に課するか取引額に課するか判明しないが何れにしても數十萬圓の稅額を收納し得ると思ふ。然し取引所に賦課するもので市場などには課せられないものと記憶してゐる

商品滯貨續出
見切處分

借入金の擔保として銀行に提供しある商品中その暴落にあひて市價の引返しを待ちつゝある者多きが財界の大勢より見て諸商品の相場は到底今春の如き昂騰を見る事は容易に豫期せられず從つて銀行業者は商人手持品の整理を勸告しその出資を新にするや力說しつゝあるが商人中には商品暴落のため頭金を差出さねば滯出不可能のものは容易に引取を肯諾せざるも其の商品を引出し處分により多少なりとも手許に剩餘の來る向は續出し各方面の求めてその放賣をなす者多く綿布の如き季節柄引出し多き由につき銀行の手許には夫等の資金の回收少からずと

商人にも生產者にも
米穀金融開放

米穀に對する金融は本年の如く米價安で地方の疲弊著しき際は新方針を採るの必要あらんとの前提し中村殖銀理事は語る從前の米價騰貴の際中央政府筋から鮮銀や殖銀で米穀に金融を附しすぎるから米價を煽るとの云ふ意見も出てゐたが鮮銀は素より當行の如きも米の金融を附するに生產者に附せず商人の方にへてゐた乃ち生產者に金融を附すると頗る借みを誘致し米價の變騰を來すけれど商人に米の金融を圓滑ならしむる事は出廻りの增加と移出の好調を來し內地米價の調節上有效だつたのである然るに本年のやうに豐作の聲高く米價の暴落を見るに至り地方農村は必需品の買入れ

納稅舊債償却等に資金を要するも豫期の如くこれを得難く米價向上の必要とせらるゝ時は商人に對する金融も必要だが更に進んで生產者に對し相當の米穀擔保貸金の貸出しをなす事は極めて必要と思ふ此點に就て殖銀では可及的便宜を圖る方針である唯地方倉庫の不備なため都會地以外は種々の事情もあれどそれには地方金融組合の倉庫並に組合の活動により生產者資金融の普及を企圖したので殖銀金融の普及と相俟つて必らずしも悲觀すべき狀態にあらず

米價の前途

米價の前途は大勢春高らず越年は無事であらう又高騰多いやうである果して春高か容易かは斷じ難きも然も正米の十八九圓は先づ低値と見てよからうか

京城勞銀近況

朝鮮土木建築協會の調査によれば十二月上旬に於ける京城を中心とする勞銀は財界不況の大勢に押されたると結氷期に入て近年稀有なる暖氣なることにて工事進捗に急を要せざる關係上勞銀の昂騰率は頗る遲々たるものありて之を昨年十二月上旬の寒氣酷烈財界好況時に於ける急角度に昂騰せる勞銀と對比せば左の如し

內地人	八年十二月	九年十二月
左官	八、〇〇	六、〇〇
木挽	五、〇〇	四、〇〇
煉瓦職	四、六〇	四、〇〇
疊職	四、五〇	三、七〇
井戸掘	三、五〇	二、五〇
車製造工	四、五〇	三、〇〇
錻力職	五、五〇	四、〇〇

人蔘耕作者の結束
買上價格引上を嘆願

開城人蔘の今年採收高は水蔘約三十二萬四十餘萬斤にして內專賣課紅蔘用買上高は十一萬七千斤此價格八十四萬圓其他は自己の…ば三十斤一斤二十五六圓なりしものが本年は九圓餘に過ぎざることなれり然るに各耕作者に於ては數年來の物價及勞銀の高騰に因り水蔘一間平均六圓の資金を要するものが賠償價格は四圓內外に過ぎざれば結局一間二圓程の損失を被り收支相償はざるを以て過般開城蔘業組合總會に於て各耕作者は當局又は中央政府に對し買上價格引上を嘆願すべきことを決議し若し當局に於て之を容れざる時は來年より人蔘耕作を爲さゞることに結束し嘆願實行に着々準備中なりと

敵は寧ろ本能寺に
運動の裏面 某當局者談

賠償價格引上に就て總督府に請願して來て居る向もあるが彼等の云ふ事にも種々受取難い點も多々あると思はれるので總督府でも別個に調査を行つて居る水蔘の賠償價格は昨年三割五分方も引上げてあるので本年又復之を引上げると云ふ事は必ずしも必要な事であるか否かは斷言出來ないと思ふ彼等の理由とする第一は物價及勞銀の騰貴であるが此計算の基礎は物價勞銀が最も不廉であつた大正七八年度に標準を置いてある然し之れは大きな間違で元來人蔘の畑に在る期間は滿六年間で播種から六年後に收納するのであるから此の六年間の平均を採らなければ實際では無い殊に物價及び勞銀は今日低落に向ひつゝある時である昨年の三割五分引上げは當局として此點を考慮しての引上げである又次に蔘圃の持續に就ても同樣でそれに彼等は三年四年若くは六年間通じて蔘圃に現に使用しつゝある物をも二年每に更新する樣な計算を採つて居る其他自己の勞力をも勞銀に換算計上するなど解剖して見ると隨分受取難い點が尠くない尤も總督府の買上數量は減じて居るそれと云ふは從來は開城の專賣課出張所では內地向き紅蔘と云ふものを製造して居つたのであるが此の內地向紅蔘は往々內地から支那へ輸送せらるゝ向があつて支那向紅蔘の市場を荒す事があるので支那紅蔘市場保護と朝鮮人蔘聲價維持との目的を以て斷然內地向紅蔘の製造を中止する事となつた事と從來は等外品も總督府で多少買上げ來つて居たが紅蔘製造に不適當な等外品を收納する事は不必要であるので此の等外品收納も斷然止めたのである所へ今年は白蔘水蔘の價格が暴落し總督府收納以外の上は總督府の賠償價格を引上げしめるより外はないと運動を起すに至つた譯である然し之等は總て表面上の事で裏面には耕作者の多くが綿糸類の思惑で多大の損失を蒙つて居るらしいそこで幾分其の損害補塡策から考へ付いた事でもあり今一歩進めば却て敵は本能寺にあるので即ち現在三井物產の手に在る朝鮮紅蔘一手販賣權を耕作者の團體に奪はうとする魂膽であるつまり賠償價格引上も出來ないと云ふなれば紅蔘販賣を耕作者團體に引受させ其利益を以て收支を合せて總督府の御世話にならぬ樣に仕度いと云ふ所で妥協し樣と云ふのであらう然し總督府は人蔘耕作者の利益となる事は何處迄も保護もし世話もする考へで現に彼等の爲めに不便であつた手續等は之を改正する事となり目下手續中である

紙上講話
タングステンの前途（下）

朝鮮に於ても支那に於けると同一の精勵を以て米國の資金を有益の目的に使ぜさせようと欲するなれば米國の資金は朝鮮の現在の鑛山を進步せしめ大收益を齎すであらう然し現在の狀態では總ての投資家は朝鮮に投資することに對して二の足を踏んで朝鮮の重石及黑鉛に對して外國人に投資せしめないなれば日本人に投資させて見るに限る然し[illegible]の商略として側は外國の資金を保護せよ然らば鑛山は復活して繁昌するであらう而して自國歲入の資源を作ることが出來る要に覺醒して現實たらしめる點に在る鑛山開發の要諦は不稼働鑛に重稅を課し良稼働鑛に減稅することである其他不正仲介商の與る鑛山訴訟事務も亦必要である（某當業者寄稿）

京取一次受渡
暢派有利

制度改正後第一次の大受渡しは十五日午後京取市場にて行ひたり受渡し株數は本國締切りまで確數不明なりしも概算一萬四五千株と註されたり又十四日後場より十五日前場の最終場にかけては波瀾湧起すべしと豫想されしも最終場は頗る商盛を呈したれど相場は存外に穩やかにて廿四圓より三圓强に崩れ二圓九十錢と打止め賣方檬尾の活躍は遂に風說に留まり暢派の寡利に歸したる如し何ほ賣株は何分安値より十圓方の鄂騰となりしため相當賣物出で荷是されたるも

東拓南洋發展

東拓にては鮮內の開墾事業を進捗しつゝある一方今回更に南洋方面にも手を伸ばすことゝなり其の第一著として蘭領ボルネオに約一萬町步の土地を買收して椰子ココア等を栽培することに決定し既に土地買收の契約を了したれば明春一月下旬頃會社より七數名の監督を派し佛人勞働者を使役して開墾に着手すべしと（東京特電）

產鐵非解散と商議聯合會
開かれまじ

朝鮮產業鐵道會社の解散に就き全鮮商業會議所聯合會開催の件は既報の如くなるが既に年末に際し一般多忙の際なると且又解散を非とする理由が朝鮮開發上頗る遺憾なりと云ふにありて此點は各商業會議所共に一致する所にて殊更に同聯合會開催をなす迄もなく非解散の趣旨には贊成なる模樣に付き此際聯合會は開催せず聯合會の名義に於て非解散要望の聲明をなすべく其以上は進んで解散防止の手段を執るが如きことはあらざるべし要消息通の云ふ所によれば解散の起りたる以前に於て既に約五十萬圓を以て解散防止を企畫されたるも財界四圍の趨勢は遂に其實現を見に至らざりしなり全鮮商業會議所聯合會は此後朝鮮輕鐵補助法案の制定を要望し之が議會通過を策するを以て撮要の策となすに至らんか

日米離間策成功
レーニン、トロツキーの演說

十二月十日莫斯科に於けるレーニン及びトロツキーの演說を綜合すれば左の如し（東京電報）

世界に對する革命戰爭は準備著々進捗しつゝあり此の準備完成せば再度作戰行動を開始すべし今や我が勞農政府の國際的地位は昂上し漸次往日の焦點となれり吾人の計畫せる日米離間策は現にヴアンダーリツプ氏に依つて其の目的を達せり爾餘の諸國の同盟を破ることも今後三年の計畫にして其の成功疑ひなし

過激派は適當の時機に於て波蘭と休戰し之に依りて剩し得たる武器を以て反過激軍を討滅し而して夫れより各國に開戰せざるべからず

移民禁止案通過

米國下院はジョンソン氏の提出に係る移民禁止法案を通過せしめたるが此の法律は一箇年間移民入國禁止をなすにあり然れども上院の首領連は右移民入國禁止法案は上院を通過する見込なしと云へり（華盛頓十二日發電）

露支既に通商

…りあらゆる手段に依り露支に通商を與へざることを議決したり又…期會合するを通例…ることに決したり（上海十三日發電）

天氣豫報

少雪ありたる所も其他は一般に…昇して昨朝より二度乃至六度上…し明日に至らば…北部の…

步兵隊入隊式

步兵第七十八聯隊に入營すべき初年兵は十八日午後十一時龍山着列車にて來城直に聯隊に入り十九日午前九時より莊重なる入隊式を擧行すべく又步兵第七十九聯隊の初年兵は十九日午前三時十分著直ちに聯隊に入り二十日高定員の來城を待ち二十一日午前九時より同じく莊重なる入隊式擧行の筈なり

實業家招待
大阪の總督

齋藤總督は守屋秘書官を從へ十五日午後五時東京驛を出發し十六日夜中の島公園に一泊し大阪實業家の主なる者三十餘名を招待して朝鮮開發に關し意見を交換し十七日朝同地發歸任の途に就く筈なり（東京電話）

政務總監から府協議員へ

水野政務總監は十四日午後四時より京城府協議會員を其の官邸に招待し茶菓の饗應を爲し懇切なる訓話を爲したるに對し年長者秋山富太郎氏の謝辭及全聖旭氏の乾杯あり大村百藏氏は其の所感を陳述して午後五時半一同退席せるが當日は大塚內務部長工藤理事官等陪席し議員…

側は古城、…三氏事故缺席せる外全部出席政務總監訓示の要旨左の如し

諸君の機關は自治制度の礎石に…頗る重大なる…得る限り之れを有利有効に運用…んことは特に望ましきことに候ふ今回の選擧に就きて其に悅ぶべき現象として認むべき現象は…田舍の如く內地人有權者…なりし地區に於ても多く朝鮮人に…都者に讓り又は鮮人にして內地人候補者に投票し若くは內地人候補者が自ら辭退して次點の鮮人候補者に當選を讓り…確なる事を思はしめたる事これなり就中內地人候補者が…に限りたるの美風を認めたる…局として實に欣喜の念に堪へず…所なり既に斯くの如きは當局…て內鮮融和の實を擧げ國利民福を…せんとする當局は勿論一般…諸君の將來に期待する所の…きは實に快たざる所特に京城…地の都市を通じ日本第七の大都…なるを以て諸君の努力は將來…施設と相俟つて宜しく至道の…たるべきの覺悟を必要とすべし

水產主任會議

十一日より本府第二會議室に於て開催されたる水產主任會議は十四日を以て終了の筈なりしが議事の都合上十五日[illegible]

產銀拂込延期

殖產銀行の第一回拂込みは十二月締切りたるが同日までの拂込みは四萬圓に足らざりしも各事務所にては更に拂込みを[illegible]二十七日まで受附くることゝなりたりと

森鐵支線認可

森林鐵道會社に於ては咸鏡南道咸興郡五老里より分岐して郡東上面漢武里に至る六十[illegible]の支線を布設し旅客及一般貨物並に附帶事業たる森林の[illegible]拓を爲す爲右鐵道布設方[illegible]に出願中の處此程愈[illegible]認可せられたり

辭令（十四日附）

朝鮮總督府技師 太田[illegible]

依願免本官（東京發電）

公會私會

○總監邸晚餐會 水野政務總監は十六日午後六時半より京城に於ける外人宣教師十三名內地人宣教師六名外七名を自邸に招待して晚餐の饗應を爲すべしと

人事消息

▲井手鐵藏氏（總督府技師）十四日來城十五日[illegible]

▲井上恭次郎氏（軍司令部附二等主計正）十五日發光州全州地方へ

▲黑田竹二氏（陸軍技師）十五日發守備地方に出張

▲池永鋪巳氏（軍司令部附一等主計）十五日發滿州公州安東地方に出張

▲田村晋氏（軍司令部附一等主計）十四日北鮮地方より歸任

▲日下茂雄氏（第一銀行重役）日朝發歸東

▲中西清一氏（滿鐵副社長）十五日神戶發[illegible]丸にて歸連の途に[illegible]

▲松本[illegible]氏（滿鐵理事）同上

▲佐藤小二郎少將（朝鮮憲兵隊司令官）十五日夜入城

▲松永外事課長 東上中の處十五日朝歸城

▲志賀博士（總督府醫院長）二十[illegible]

▲前田少將（憲兵司令官）二十二日朝東上の豫定

▲大橋大佐（京城憲兵隊長）[illegible]出張十七日歸任の豫定

▲伊藤四郎氏（朝鮮殖興支配人）[illegible]回大阪出張所詰となり十四日[illegible]赴任

▲上林敬次郎氏（北道知事）十四日朝上京軍司令部に大庭軍司令官を防問せり

▲澤田豐太郎氏（朝鮮銀行東京調査部長）[illegible]十五日朝家族同伴東上

▲加藤木社長 後藤の爲め京城中の處全快せしに依り十六日より出社

仁川埠頭の殷賑

船積穀類の増加 米大豆を積載して内地へ

築港船渠内に繋留せられた船舶が一日十二隻に達し舳艫相銜み岸壁の荷役織るが如く賑々たるウヰンチの響に埠頭の殷盛を示してゐる此等の船舶は主として仁川から米大豆を積載して内地に向ふのであるが卸荷としては僅に綿織物其他金品類の僅少の外多くは片荷の状況である、仁川から搬出する穀類の増加は海運船舶餘裕ある今日運賃低落の結果で從來鐵路の輸送は主として運賃の關係から海路に其の徑路が變更せらるゝに至つたからである最近十一月末の仁川驛發着數量に於て觀るも昨年十一月との荷動き状況が如何に變化したかを窺ふに足る即ち同驛の發送は激減して

到着は激増 して居る

發送減少は物價の低落商不安を伴なふ結果一切の思惑入荷が無くなつた爲めで到着の増加は前記の如く穀類の輸送經路が海運による樣に變更されたからである殊に到着増加の内には粟の二千九百十三噸など云ふ特殊の奇現象も含まれて居る之は米調時代滿洲粟の輸入されたのが今は需要なく今や逆送の光景を呈してゐるからである其他主要發着品の數量は左の如し（仁川）

到着噸數	十一月末	前年同期
米	二、五三三	一、九八八
大豆	二、四二八	七七八
粟	二、九五三	二七二
雜穀	二五五	一九一
籾	八六七	三一八
石炭	三四四	二二六
總合計	一三、三八一	六、七九三
發送噸數		
石灰	二、七三〇	七、〇七六
鹽	二、五〇二	四、三八八
金屬類	一、五〇一	一、四〇〇
綿織物	四七八	一、四〇七
米	四八六	三六二

上海市場近況

▲英米商館と支商人の紛糾 近時英米商館と支那商との契約品と銀塊の慘落たる暴落に據り差額を生ずること甚だしく支那商側に於ては破産を以てするも契約の履行不能の狀態に陷り 四百數十店の同業者中營業を支持するの策盡き逃走するもの頻出し今日迄既に百二、三十店の多數に達せりと傳へらる殘留者の多數は到底圓滿に解決するの方法なしとし英米商の強硬なる態度に反抗して示威的に出で十一月二十三日より絶對に營業を停止すべく宣傳を行ふに至りたるも反對者あり組合の名を以て爲すこと能はざりき此擧に反對せし同業者は當有力者にして而も外商側より恩惠に浴し居れる連中也外商側の態度は一概に頑強の如く傳へられ居るも外商側の

眞意は此際 得意を繋

ぎ良質の者には相當援助するの方針にて同盟罷市に反對しつゝある者は信用すべき選に當りたるものならむと觀測せらる英米商の強硬に脅かされつゝある多數の同業者は日貨排斥に際し英米商に迎合し盛に在留邦商を苦しめたること同樣に日本商品を取扱ふ同業者を擯斥したりしが今日に至り外商側よりは峻烈なる侮蔑を受け曾に擯斥したる日本商品取扱ひの同業者に面目を失し悄然なるに反し日本商に接近せるものは

邦商を德こ し親密提携

の厚を加へつゝあるは慶幸とする所たると同時に此の機會に於て擊退されたる地位を恢復せざるべからず傳統的以夷制夷は日貨排斥に際し商人側に於ても遺憾なく發揮せられたるが今回英米商との契約に失敗したる商人は虎と離れたる狐たるに眼覺めて妄動の愚を自覺したるらしく假りに今後日貨排斥勃發するも商人側は自重し附和雷同に爭先恐後するが如きことなからむかと 觀測さる現在に於ては日貨排斥は一掃せられ英米商に反感を抱し結果は邦商に

好果を與へ 取引良好

に行はるべき筈なるも日本向爲替相場輸入六十一兩四分の三輸出六十兩半と云ふ銀塊の大暴落を來し一時標準相場と雖も四十七、八兩に比較すれば實に三割近くの大差を生ぜり賣値段も爲替に從ふべき筈なるに不拘綿物の如きは僅に五分乃至一割高に過ぎず海産物の如き殊に鯣の如きは入荷豐富にして却て下落せり商狀は行き詰まり市場閑散を來せり要するに銀相場の引返しが支那側の買値段を高めるか、生産地の

値下等孰れ かの一方

動かざれば閑散の狀態は繼續すべきものと觀測さる

▲輪川に就て 輪川の不振又甚しく昨年の同期に比較すれば約三分の一に過ぎず製絲の如きは今春來市況不振の爲め殆ど全部經營困難に陷り一時操業を中止すると共に製絲場聯合會商所を設立し政府に救濟を請願することに決定し資金二百萬圓の融通を財政部に請願するの窮境に在り雜穀肥料共に沈靜勝なり

現在の相場 標準は麥

粉舊十月限二兩一四、豆油（牛莊物）現物十兩一匁、種油（牛莊物）八兩一匁、落花生油（夾雜物）九兩三匁、黄豆（漢口物）三兩三分、青豆（漢口物）三兩二匁、綠豆（南京物）三兩八匁五分、小麥（漢口物）三兩五匁、棉花（通川物）廿五兩七匁五分（日本向き輸出爲替相場六十兩半）なり

肩屋の籠

時事雜感　隈汀生

（八）小幡駐支公使の辭意 最近の東京電報は小幡駐支公使の辭意鞏固なるを傳へて曰ふ同公使は軍閥者流が外交に容喙し、終には之が爲に手足を縛られ、活動意の如くならざるのみならず、時と或は公使の意見を裏切りたるが如き擧措ありしと再三ならざりしを 快こせざる折柄、徐樹錚が監視を破りて逃走したる爲に、公使の面目は丸潰れとなり、今後支那との交渉に當り不利益尠からぬを慮りたる故なりと（十二日の『京城日報』）如何にも然うであらう。余は同公使の困難なる立場に對して同情を表せざるを得ない。凡て何れの國を問はず、軍閥者流が外交を支配する時、其の國の對外關係は、極めて困難となり又危險に陷るを免れぬ。武力は常に外交に由りて指導されねばならぬ。それが日本に於ては倒行逆施される。對支對露の外交に於て殊に然うである。我等の起ッて、我が外交を正しき道に導くのは、實に今日焦眉の急であると思ふ。

（九）外交官任用の一新例 此の程政府は、政尾藤吉といふ外務省以外の人を暹羅公使に任命した。又近く廣澤金次郎氏を西班牙公使に任命せんとする噂もある。余は原内閣が從來の慣例を破りて、能く外務の門外漢を採用したる勇斷（？）を賞稱する

（十）對露政策の一新 去る十一日の『大阪朝日』は『對露方針一新か』と題して、列國の對露通商と關する協議の現狀を報道して居る（東京電話）。其の中に、我國の態度に關して左の語句が見ゐる。曰く『西伯利の各政權も、反過激派に屬し外國の力に依りて、過激派政府を顚覆せんことを祈り居たるものなれども、外國の干渉は、益過激派の結束を鞏固にし、反過激派の運動は、コルチヤク、デニキン、ユデニツチ、ウランゲル等に依、相次いで外國の援助の下に企てられしも、悉く失敗に了りたるが、進んで外國こ過激派政府こが、通商を開始し物資の窮乏を免れんと欲するの念を抱くに至りたるが、外國の干渉なきときは、過激派中に内訌を生じ、却て反過激派擡頭の機會を招來し得るならんとの希望を有するものあり』云々、是れ全く余が先頃本欄に揭げたる對露策と同一の意見である。我國從來の政策を更始一新せんとするの聲は、漸く高まりつゝあることゝ思はる。

理想

人は、其の理想及び抱負の、或る價値ある目的を定めて、堅く之を守るべきなり是れ即ち理想なり。此の物質的世界を以て我等を容る、唯一の世なりとせば 我等の狀態は誠に賴り無きものと謂はざるを得ず、然れども、是れ我等が唯一の世界にもあらず、又最善の世界にもあらずして、我等は意の儘に我等の理想境に悠遊して、其の豐富にして盡ち足れる寶庫より、我等が日常生活の世界を圓滿ならしむ所のものを取るべき特權を有せり。勞苦と失望との大波は、我等の周圍の起伏すれども、想の王國は、熱鬧の市街に別に地が開ける靜寂なる寺院の如く常に我等に接近して入り易きに在り

仁川貿易

十一月中 約五百六十萬

十一月中仁川港輸移出入總計は五百五十九萬九千三百六十九圓にして輸移出二百六十二萬九千七百十圓輸移入二百九十六萬千六百五十九圓を算したるが之が重要品目を揭ぐれば輸移出にありては米百六十四萬二千四百二十四圓大豆四十五萬一千百八十九圓小麥二萬九千七百五十五圓牛皮五萬九千百二十圓肥料四萬一千九百九十五圓其他の雜品三十八萬一千四百九十四圓にして輸移入にありては生金巾及生シーチング五十二萬五千五百十一圓晒金巾及晒シーチング十三萬三千八百六十二圓綾金巾及雲齋布九萬九千九百二十七圓綿織及打綿五萬二千五百八十六圓日本木綿五萬八千四百四十八圓毛織物三萬六千八十四圓洋紙六萬六百六十圓鐵條竿及板十萬四千四百四十圓軌條及附屬品二十五萬七千二百七十九圓石炭十六萬三千四十九圓セメント四萬四千七百四圓清酒四萬八百三圓小包郵便六萬七千六百三十七圓其他の雜品九十七萬六千百二十圓等其主なるものなり（仁川）

仁川奉安所落成

豫て有志の寄附により建造中なりし仁川公立高等女學校並に尋常高等小學校及び新設尋常小學校の御眞影奉安金庫は過般落成を告げ同時に御眞影を奉安せるが此の落成に際し三校長は感謝の意を表する爲め記念寫眞を添へ一般寄附者へ對し挨拶狀を發せりと因に建築總經費四千五百五十圓を要せるが其の寄附者氏名左の如し

▲三百圓河野竹之助▲三百圓奧田貞次郎▲二百圓宛井上藤吉▲今村與次郎▲鳥居長次郎▲吉田秀次郎▲玉置才一郎▲辻川富五郎▲内海淑郎▲小林藤右衛門▲廣瀨重次郎▲鈴木倭▲百五十圓仁川米豆取引所▲百圓宛若松兎三郎▲高杉升▲高木助市▲村谷吉藏▲上田文次郎▲野口文一▲眞岡利吉▲後藤連平▲推浩▲淺濃谷榮次郎▲南方竹次郎▲白神專一▲平山松太郎▲五十圓宛馬場卯之助▲吉金喜三郎▲馬場スエ▲西塚安五郎▲川津武彦▲山本牧左衛門▲矢上丑之輔▲丸野那之助▲坂田爲市▲北島修二

土耳其葉好績

大田郡内に於ける 大田郡内に於ける土耳其葉煙草は此程全部の收納を了したるが收納高は三千五百三十四貫九百八十匁此の價格金一萬二百八十九圓七十八錢一貫目平均二圓九十一錢一厘にして昨年に比し一千貫以上の増收を見たるが其成績は非常に良好なりと（大田）

原料材流下數

朝鮮製紙株式會社の原料材こして上流より到着したる原木は約十六萬尺締にして此の外一萬尺締を安東新義州にて買收したり（新義州）

清鳥間自動車 時間改正 京城清州間一日にて往復

清州鳥致院間の自動車は從來午前九時清州發を一番として午後七時迄に五回運轉し來りたるが時代の要求は之に慊焉たらず猶午後十一時釜山發鳥致院午前六時三十分着奉天行（南大門午前九時三十分着）急行列車に接續し又午後七時二十分南大門發鳥致院午後十時二十七分着の釜山行急行列車の客を接續して清州に歸るべき運轉を必要とし清州地方の有志は自動車營業者に交渉する處ありしが織居自動車部は之を快諾し午前五時清州發、同六時鳥致院着、午後十時四十分鳥致院發、同十一時四十分清州着とし愈十五日より其の運轉を開始する事なりたるが同時に郵便物をも同便にて遞送する事となりこれが爲め清州京城間は一日を以て往復する事を得時間の經濟上將又直接間接に受くる利便大なるものあり殊に年末に際せし事とて一般の人々は大に悅び居れり（清州）

大田慈惠醫院 豫定地決定

大田に於ける慈惠醫院敷地豫定地は第一候補地は大興面側第二候補地は法院大田支廳隣第三候補地は鮮岩里と決定し夫れぐ地主に對して買收の交渉をなしたるに各地主に於ても其意を諒とし案外低價に買收に應ずる事に決定したるを以て近く買收をするに至るべしと（大田）

計數競技 釜山府廳主催

豫期以上の成績を收めし 旣報の如く釜山府廳を中心として組織せられたる釜山計數會第一回競技會は豫定の如く十二日午前十時より府廳樓上會議室に於て開會せられたるが當日の參加人員は府廳職員約六十名甲乙丙組に分れ最初は簡易なる加減の暗算より乘除の暗算競技後に難問たる加減乘除の運算競技に移りたるが順を追ふにつれ火を散らさんばかりの奮鬪を演じ頗る緊張せる競技振りを發揮したるが最初の試みとしては豫期以上の成績を收め午後六時過終了したり當日の入賞者左の如し（釜山）

丙組暗算 一等中村商、二等山根友陰（約三分内外）△加減暗算一等森喜三郎、二等林福植（約三分間）△加減乘除一等森喜三郎、二等渡邊ひさ子（同上）△乙組暗算一等谷鶴昇、二等美濃後△加減暗算一等高間德太郎、二等辨鶴昇△加減乘除暗算一等多田公道、二等品富德太郎（約三分間内外）△甲組暗算一等西岡勇一、二等大西榮七（一分二十秒内外）加減暗算一等野崎久、二等中村商（一分三十秒内外）加減乘除暗算一等飯島隆光 二等赤木月作（一分廿五秒内外）

仁學議組合會

仁川學校組合會は十三日午後一時府廳樓上會議室に於て開會寄附金採納の件追加豫算更正の件並に上田文次郎外三名の寄附に係る御眞影奉安金庫寄附の件土地料金に關する件土地賣却に關する意見等の相談會を開きたる後願ひに關する件等を決議し後が之を以て本年の組合會議は納會とすべしと

日華絹綿會社

安東縣六道溝在の絹毛紡織工場は旣報の如く遂に大分縣中津絹綿紡織株式會社を合併する事となりたるが今回社名を日華絹綿紡織株式會社と改稱し本店を安東縣六道溝に置くべしと會社の資本金は二百萬圓四萬株にして一株に付金卅七圓五十錢拂込みなりと（安東縣）

棧橋使用規則

馬山稅關棧橋の突堤は同地の商工業者其他一般に對し無條件の下に自由に使用せしめつゝありしが其結果種々の弊害を釀成するを以て稅關にては十二月一日棧橋突堤使用規則を制定し使用者は爾來同規則の下に使用することゝなりたり（馬山）

鴨江一部解氷

十三日の大潮の爲め 鴨綠江は去る八九兩日の暖氣に殆ど結氷狀態に入りたるが十二三兩日の大潮の爲一部解氷し十三日の如きは安東、新義州附近に於ても水面を現し殊に五道溝沖にありては大面積の水面を現したるが漸次小潮となるに隨ひ再び結氷狀態に復し氷上通行を見るは多分二十日以後なるべしと（安東縣）

仁商評議員會

仁川商業會議所評議員會は十三日午後五時より會議所樓上に開會評議員功勞彰表の件を可決之を以て今年の納會とせるを以て同日午後六時より學校組合議員及び會議所評議員一同瀧間に於て忘年會を催し理事者及び組合議員商業會議所職員並に新聞記者を招待宴を張れり（仁川）

朝鮮材木總會

朝鮮材木株式會社第三回定時株主總會を來る二十三日午後五時より第二線新館に於て開催する由因に同會社重役會議は十五日同社内に於て開催すべしと（新義州）

朝鮮製紙總會

朝鮮製紙株式會社第六期定時株主總會は來る二十五日頃東京に於て開催する筈なりと（安東縣）

女子教員講演

慶北忠南忠北三道の女子教員内地視察團の一行に加りて内地の各所を視察し非常の感動を受けて歸來したる淸州公立普通學校訓導奧野喜女史は十二月十五日同校に生徒の母姉竝に一般朝鮮婦人を集め内地視察談を試むる由（清州）

咸安署落成式

慶南咸安警察署は昨年來新築中なりしが此程竣工し去る五日新築落成式を擧行したるが當日萬畑首長の報告あり八木三部長は知事代理として一場の祝辭的訓示を爲し次で松田馬山支廳檢事は來賓を代表して祝辭を述べ其他數氏の祝詞ありて宴に移り散せり（馬山）

群山懇話會

群山官民有志より成る群山懇話會は毎月會費を徵收積立年一二回會合し懇親を温むを例とせるが會費中一部有志間に年僅に一二回會合し陋食を共にするは猶睦を温むるに多少の好果ありと雖も一層有意義有る會合たらしめんとの議起り之が協議を兼ね會を十一日午後六時より富士亭に於て開催したるが會する者新加入會員を併せて四十餘名一識氏の前記趣旨の開會の辭あり會計野邑安之助氏の會計報告に次いで赤松繁夫、森菊五郎、津阪喜三、高洲規、佐藤政次郎、宮舘貞一其他數氏交々提案に對する意見の交換を爲して宴に移り談笑の間更に協議を重ねたる結果群山發展に關する事項を討議する機關たらしむるは臨機の機關に依らしむるも但問題の實行は別箇の機關に依ることとして幹事三名を選定し其他を議定し佐藤政次郎、宮舘貞一、大澤勝十郎氏三名を一月當番幹事に推選し歡談を盡して午後十時散會したり（群山）

○貨銀披露宴 旣に仁川倉庫株式會社を買收し其の營業一切を繼承する事となれる京城貨物銀行にては十五日より仁川支店を開設し業務取扱ひを爲すべく之が披露の爲め十六日午後六時より八阪樓に於て盛大なる宴を張るべしと（仁川）

○悲田院へ寄附 客月廿二日仁川佛教各宗聯合會主催各新聞支局並に愛國婦人會等の後援の下に開催されたる慈善演藝會は豫期以上の成績を收め總收入高八百五十八圓七十錢に達したるが總支出三百二十三圓八十三錢を引去り殘金五百三十四圓八十七錢の内四百圓を悲田院經常費へ一百三十四圓八十七錢は同基本金へ寄附したり（仁川）

○新義州懇話會例會 新義州懇話會例會は去る十一日午後六時より第二線新館に於て開會したるが本年最後の例會こて非常の盛會なりし（新義州）

○五仲買店張宴 今朝仁川米豆取引所仲買人の許可を受け新規開業せる力武乘左衛門、吉金喜三郎、那須藤三郎、北島五郎、水野熊平の五氏は開店自祝の意味を以て十五日午後五時より八阪樓に於て披露の宴を催し官民多數を招待すべしと（仁川）

○渡邊氏の招宴 元安東銀行の專務取締役たりし渡邊喜八郎氏は十二日夜料亭太陽樓に安東新義州の主なる新聞記者を招待したり（安東縣）

忠南道知事訓示（一）

學校長會議に於ける

此の程忠南道公州に於て開會されし小學校長並に普通學校長會議に於て時實道知事の與へたる訓示左の如し（公州）

思想問題の八釜しく云はれること今日程甚だしいことのないと云ふことは諸君の御承知の通りでありまする實に現代の思想界は世界の各國を通して混沌たる狀況でありまする或人は一昨年を以て終りを告げた歐洲の大戰爭を目して十九世紀文明の總勘定であるなど云ひますが之も見方に依つては正當でありませう然し其の所謂總勘定なる言葉か十九世紀文明の打切つてあつて其の以後に於て新らしい文明が確立したのであるならば勿論正しい見解と云ふ意味であるならばそれは出來ませぬ少くも思想界を瞥見しますると十九世紀の末葉に於て勢力を有して居つた色々の思想は今日雜然として各一角に割據し依て以て思想界の歸一を害して居る狀況であります勿論思想界の現象は之が機緖も面倒であり混迷困難でありますので到底我々如き門外漢のよく爲し得る所ではありませぬ只近時我國に於ても外來思想の傳來に伴うて一般民衆の思想が往々にして極端に走り矯激に趨かむとしつゝあることは御互として留意を要すべきことではなからうかと思ふのであります云ふ迄もなく我帝國は幾千年の歷史を有し殊に其の國體に於て萬國に冠絶して居り國民道德の根柢は深く且堅くして到底一朝一夕に之か動搖を來すことのないと云ふことは勿論此の點に關して何等不安を感ずることはないのでありますが兎角一般生活の上に思想上の不安動搖を見むとする狀況がないではないのでありまする之を概括的に云ふて見るならば思想が一般に極端に流れ偏僻に陷ると云ふ形跡が看取せらるゝのであります調和的の思想中庸の考は兎角新らしい人々からは喜ばれない何事でも新らしいものか歡迎せらるゝと云ふ際があるのであります嘗て私の或所で述べたことでありますが或評論家の評に何うも日本人は物事に徹底を缺いて居るから困る徹底を缺く結果進歩が途中で止まる東洋文明は其の特徴として精神主義を標榜して居るが之も物質主義に徹底し物質のどん底から出たものでないから役に立たぬ一體何事も物質か本であるから發足せねば駄目である西洋の文明は今や行詰りの觀がないでもないが然し物質的に徹底した後に起る精神主義であるから今後大に見込があると云ふ樣な意味のことを說いてありましたが日本人が徹底を缺いて居ると云ふことは多少の眞理がありませう又私として勿論物事に徹底と云ふことは之を希望します

◎見逃す勿れ◎ 年末年始 クリスマスの贈物用として

多額の割増金附勸業債券が當つて飛ぶ 貰つた方は運が良い 僅か二千圓（四分利五分利の格安物多數）で買へます（取扱あり お早く御注文願ます）

福岡市博多下呉服町電車交叉點 電話一五四五番 勸業債券月報社福岡支店 （本店）日本勸業銀行構内 振替口座福岡九五五八番

大島紬見本進呈

進呈 特許商標の理論及出願要項を說明せる特許の栞と題する美本を呈す希望者郵券貳錢送 大阪道修町 石特許事務所

純良カタン糸 ワニ印 船印

ALLIGATOR TRADE MARK BEST (50) COTTON / FUNE BEST (50) COTTON

日本カタン糸株式會社製品 特約販賣店 京城 高木商店 同 玉植支店 同 丸二商店 仁川 南方本店 同 鬼頭本店

ネッスルミルクフード 小兒 病弱 老衰

お醫者樣は必ず御勸めになります！ 母乳代用、病弱老衰、產前、產後、離乳！ 下記見本券に郵券十錢御送附の方には見本呈上致します。

▲僞物あり…… ▲鳥の巣の商標に御注意

見本券 住所 氏名 横濱郵便局私書函三〇四號 ネッスル及アングロ スヰス煉乳會社行

◆價格至廉◆堅牢無比◆德用向◆ ◎最も完全せる 總ゴム靴!!! 晴雨兩用の最適品

近來皮靴は非常の高値を稱へボックスの極くお粗末なものでも七八圓位する。ソレで二三ヶ月しか使用に堪へぬでは甚だ不經濟ではないか、茲に發表する弊社製造工場の製作に係る精巧無比なるS式總ゴム靴は時代の要求により生れたる科學の發明で從來ありふれたるズック製護謨ゴムの類でなく、極めて純良の原料を以て精製せる總ゴム製なれば其の耐久力は皮靴の三倍を保證し得られ價格至廉皮靴の三分一に等しきを以て經濟上勞働者向となり歩行輕快にして飛び歩く ▲くもり、雨に雪どかぬを以て驛舍用として歡迎せらる、特に本品は總目縫目等なきを以て泥の中、水の浸入する憂なく汚れゝば水洗が出來る極めて便利重寶のものであるから從來の使用せられつゝある樣な重くて不便なオーバシューズ等を用ふる必要は絕對にない、殊に春先の散歩、旅行、運動用として好適の逸品である、特に今回は廣告のため五千足を限り左の卸値段を以て一足より御注文に應ずる事とせり、御注文の節足袋の文數記しハガキにて御申越あれ

卸値段 特 四圓二十錢 甲 三圓五十錢 乙 二圓五十錢 並 一圓八十錢 （一足にても注文に應ず）

東京市日本橋區小石町一ノ十 關谷商店ゴム部

◎愛樂家の福音

御正月を目の前に 舶來樂器が各種着きました

△米國 蓄音器 金四拾五圓以上 金七百五拾圓迄
△獨逸 ヴアイオリン 金七拾圓以上 金壹百五拾圓迄
△瑞西 メトロノーム 金貳拾參圓
△獨逸 ハーモニカ 金壹圓八拾錢以上 金九圓迄

◎此ノ外附屬品洋樂譜 ◎セノオ樂譜及新小唄近版物寄荷 和洋樂器音樂書（目錄進呈）

京城本町 振替一六八四番 釘本樂器部

京城府旭町壹丁目參番地 齋藤齒科醫院 電話一四二四番

院主 齋藤英壽 齒科醫學士 齋藤鶴雄 齒科醫學士 西野鐵雄

診察時間 自午前八時、至午後六時 日曜祭日は休業仕候

內地歲暮御贈答品

●漢陽高麗燒 茶器花瓶 菓子器德利盃
●螺鈿漆器 茶盆、硯箱貰入 菓子皿、文庫
●神仙爐 白銅製料理器
●明太子 カラスミ 一本三十五錢 籠入、紙函入
●明太子粕漬 大一圓二十錢 中九十五錢 小七十五錢
●鶴乃味噌漬 大一圓七十錢 中一圓二十錢 小八十五錢
●鍋鶴、雁鴨、雉子
●其他數百種
◎御便宜上荷造ハ堅固ニ致シテ差上マス

京城本町二丁目 朝鮮物產商 海市商會 振替京城四八番 電話二五〇番 支店東京日本橋通四京橋區南傳馬町

東拓と殖民事業(二)
移民收容の現狀
各移住地視察概要

黃海道載寧郡

北栗面

北栗面移住地は黃海道の所謂載寧平野の一部で載寧江に圍まれ見渡す限り起伏なき肥沃なる大平野の一部で東拓は面內耕地二千六百町歩、中二千五百町歩と云ふ殆ど全耕地を占有して居る從つて鮮農は皆會社小作人で他の樣に移民收容後他地主の土地を小作するといふ事は絶對に出來難いから小作地引上に因る種々の影響を見るに頗る好都合である。會社は大正三年中此處に第四回移民五十四戸を收容して以來年々收容を繼續して現在二百戸を超ゆる立派な農村を形成してゐる。今大正三年より五ケ年間に於ける本面小作人の耕地面積其他を見るに左表の如き歟

小作人戸數及耕地面積

年次	戸數 內地人	戸數 鮮人	戸數 計	面積 畓	面積 田	面積 計
大正三年	五四	一,三五五	一,四〇九	二,四五〇反	八三九反	三,二八九反
大正四年	一〇四	一,三四九	一,四五三	二,四五〇	八三八	三,二八八
大正五年	九八	一,三六三	一,四六一	二,四六二	八四一	三,三〇三
大正六年	一二六	一,三二八	一,四五四	二,四八五	八五四	三,三三九
大正七年	一七〇	一,二七〇	一,四四〇	二,四八五	八七九	三,三六四

移住地及小作地增減表

年次	總面積	移住戸數	移住地面積	殘面積	鮮農小作人一戸當面積	備考
大正三年	三,六四三,八丁	五四	九七,二〇丁	三,五四六,六	一,八二二反	
大正四年	三,六〇三,八	一〇四	一二五,二〇	三,五一一,六	一,七三三	
大正五年	三,六〇五,三	九八	一六六,四〇	三,四三八,九	一,六〇八	
大正六年	三,六〇四,八	一二六	二〇五,二〇	三,三九八,八	一,五九八	
大正七年	三,六〇三,四	一七〇	二四四,四〇	三,三五九,〇	一,五〇四	

前表の如く移住民收容初年に比して最近に於て一戸當り約二反八畝の耕作面積を減少せるも此事實中には又鮮農の戸數增加も否むべからざる事實である。然るに調査の結果は意外にも鮮農一戸當耕地が右表の如く減少せる事實なく却て優良小作人にありては小作地の增貸さへ受けおるものあり普通小作人も決して其の耕地を縮小せられ居らざる事が判明した。之は中間小作人こ云つて五七町稀には十町餘も小作契約をなし其大部分を小作せしめ又は請負耕作せしめ己れは傲然こして地主の生活を營んでゐるものが移住民招來の初年には面內全鮮農の約一割に達してゐたと云ふ。假に同面の總面積二千六百卅三町四反で小作人の一割即ち百四十人が平均七町五反の中間小作をしてゐたこして其の合計一千五十町を控除すれば一千五百八十三町四反こなる。之を殘餘の小作人に割るこ一町一反內外こなる。即ち移住民招來前に於ては一戸當り一町一反程度の耕作地を有つてゐたこ云ふ事實がある。然も同方面は俗に「飲勿」こ云つて此處で暫く農業をして居れば相當餘裕を生ずるこ稱せられてゐる。耕作地一町一反前後を有つて居た時でも農民羨望の土地であつたのが普通農民は却つて耕地を增してゐる現在に彼の陳情や請願で騷ぎ出したこ云ふは畢竟前に云つた中間小作をしてゐた連中が。會社が移住民收容に伴ひ小作契約を愼重にしたために自然に契約地を縮小せられ自分等も自ら耕作勞働せなければならない事になつた爲に騷ぎ出したのに原因する。即ち移住民を收容した爲に小作地が少くなつたこ云ふ事は一般小作人の聲ではなく一部大面積を耕作してゐた手合の宣傳である。

○保科子爵へ記念品　大塚常三郎、川崎榮太郎、飯泉幹太、田中卯三の四氏發企となり道販總督府地質調査所技師より農商務省に榮轉したる保科子爵に對し記念品贈呈を爲すべく發起の向は金額氏名を來る廿八日迄に總督府殖務課小井岡(電話特內一一四)又は地質調査所河野國(電話二二七八)まで通知ありたしさ

りを一堂に會するのも亦未曾有のことである(東京)

帝國美術協會の內容
ご傑作畫展覽會

今回本社來青閣に於て三都大家傑作畫展覽會を主催する大阪帝國美術協會は資本金百萬圓にて本年一月創立せるもので、吉川代議士を會長こし斯界に多年の經驗を有する東村日出雄氏專務取締役こして敏腕を揮ひ會社の創立こ同時に正金三十萬圓を提供して東京京都大阪其他各地一流の大家に揮毫を依囑して居る今回陳列の作品も全部それ等大家の筆に成つたもので昨年來流行の市場に出た商賈品こはすつかり其の趣きを異にして居るから京城に於ける展覽會こしては其內容に於いて旣に空前のものご謂ふべきであらう

學校の義士會
龍山小學校

十四日龍山小學校では校長初め各先生方の發起で古今の美談こして知らるゝ赤穗義士打入りの日を記念するこ同時に兒童一般の精神涵養に資せんこして午後一時より三學年以上の兒童一同を集め義士會なるものを開き先づ校長開會の辭に次いで其の主旨をこかれ次ぎは各先生の義士傳中最も精神教化に關係あつき三人士の話があり盛況裡に會は閉ぢられた學校教育こして實に意義ある催してあつた各兒童の腦裡にい、印象を與へた事であらう

家庭と婦人

寒國の春は寂しい
少しは軟かな感じをと
お正月の飾りに工夫を凝らす
吉田鮮銀理事夫人
室には床しい盛花の色が……

暮れ近い冬の日、この程東都旅行から歸つた鮮銀の吉田夫人を旭町の舍宅に訪へば心地よく應接室に通されて夫人は爽かなものごして……

『私の旅行談なんて何もありやしませんのに……たゞ東京に幸ひな事には兩親や祖母など健在してゐますので序さへありますご遊びに行きます。今年もこれで二回往復しました。先度は子供を皆連れて參りましたが、この節は宅によく子供の世話をして下さる方がありますので留守居さして末の子一人丈け連れてまゐりました。それに何分年末を控へた旅行で大變忙がしく隨つて格別目についた事も有りません。一體に不景氣なご申しますが私の一寸見ました東京の景況ではそんな風も見當りませんでした。滯在日數が僅な上冬の日の暮れ易いのさで何處へも參りません。たゞ日光に一日遊びました位でした。それこあの明治神宮にはこんご親しく參拜致しましたが、立派な事神々しい氣分は實に想像より以上で西行の歌のやうに知らずく頭の下るのを禁じませんでした。まのその位の日間でして。私はそれに老祖母が居りますのでこちらの溫突を東京にも設けたらごんなによろしからうご思はれて、往復します際毎にますく其念を深くせしめられます。造花ですか……造花はこんごは少しく材料を買つてまゐりました。それはお正月も眼前に迫りますが、花一つない寒國の春は誠に淋しいもので、家族の爲にも來客の目にも少しなりご軟かい感じをご、思ひきり派手やかなお花をもりたさに昨今忙しい思ひを致して居ます』ご室の一隅にはこれも奧樣のお作であらう大花籠に盛られたあでやかな四季の花からは今にも馥郁たる香の送られさうで爽やかな奧樣の御樣子ご好い對照で匂ふてゐた

天城の御獵
十三日より十日間

宮內省主獵寮にては十三日より十日間伊豆天城山御獵場に於て猪鹿御獵を行ふにつき伊達、鍋島、栗津、山口、井上、酒井、坊城各主獵官一行は十二日午前八時四十五分東京驛發汽車にて出發したるが北白川宮成久王殿下並に黑井海軍大將御陪獵差許されたるにつき殿下には兩三日中に御出發御參加相成る由(東京)

元老大官へ御目錄
歲末の御慰勞

畏き邊にては御恒例に依り十五日山縣、松方、西園寺各元老、原首相以下國務大臣外交調査委員、大臣禮遇、樞密副議長以下顧問官を宮中に召させられ中村宮相より歲末御慰勞の御沙汰こ共に御目錄一封宛を傳達し尙ほ二十八日歲末御用納當日正午千種間に午餐を賜はる由(東京)

兩女史の爲
祝賀會
十九日精養軒で

三輪田高等女學校長三輪田眞佐子東京高等女學校長棚橋絢子兩女史が過般多年教育界に盡力したる廉を以て皇后陛下の御召により何侯優渥なる御諚を賜はりたるは公私教育界を通じて未曾有の事でこれに對し今回都下私立の女學校中學校實業學校七十餘名發起こなり十九日午後一時から上野精養軒で祝賀會を開くこゝなつた各學校が發起こなり女子教育家名流婦人の集ま

南山莊情話
……(一)……

三重子の戀
南山莊に吸はれた
黑の中折、馴染は
無いが三重子をこ…
襖の蔭には白い顏

水のやうな澄んだ夜の空氣が新町の灯火に溶け込んで、ぞめきの客がそろく廓內になだれ込む十二月のこある夕べ、吸はれるやうに南山莊の門を潛つた一人の男があつた。

黑の中折帽の下に、窓でた眉を俯向けに、眼鏡を掛たのが伏目に見ながら、薄い髭ある唇を二重廻しの襟に隱してゐた。中肉中背の年は二十七か八。

下駄の音を耳にした女中はつご障子を開けるなり、緣からいそくご庭下駄を突ッかけ、兩頬に溢るゝ許りの愛嬌を湛へながら、

『良うお越しやす、本まに今夜はお寒うおすな、お一人さんでつか』

大阪辨こも京訛こもつかぬ優しい聲で斯う云つて男の肩に並んで歩みを運ばすご、男は女に一瞥を與へ、

『あ、私一人、座敷はあるかい?』

た。

『ね、お氣に召したのがお幾つでも……』

ご先に言つた。黑すんだ裏山の松を左に見て、幾つかの小さな離座敷の前を通つて、奧まつに離座敷に案內した。そこは三疊の控へ室ご八疊の座敷、床には寒菊がうねつた優風流に挿けてあつて、その前には藤親王の細い上品な文字の懸け軸、座敷の調度こもしつくり調和してゐ

八重子

『あ、寒いく、早く熱いのを持つて來て吳れ』

『はいく承知致しました、女はんは誰に致しませう』

ご女は襟をかき合せて斯う云ふご男は、

『僕は始めてだから、馴染はないんだ。併し茲には三重子こ云ふ藝者があるだらう。それを呼んで貰ひたいんだが……』

『三重子はんだつか、今お湯から上つて髮を撫でつけてゐやはりました。直ぐ來るやうに申しませう』

女中はいそくこして外に出た。新町の廓に近いこは云へ、南山莊は其の名の如く山莊のやうに靜かである。

男は右見左見、森々こ邊る寒さに心持顫へてゐたが、俄かに大きな嚏をした。

其の中に火鉢が運ばれる。膳が出る。酒が出た。

女中が注ぐ盃を一杯飮み乾した時、

『姐さん、此方?』

ご甲走つた若い聲がした、襖を開ける▲白い顏が覗いて、ぱつこならぬ匂ひ――

遊んだ揚句
自殺

驛毛れ堀川平兵衞(二〇)は昨冬より同家に雇はれ最初の中は正直に働きゐたるも尻の溫もるに伴ひ借金に攻られ主家にも居堪らず先頃暇を取り仙丸ご馴染を重ね落籍を計畫しゐたるも處發覺して樓主も心中なご仙丸ご此世で夫婦になれぬもの手を取つて逃亡せんごする處を車夫に發見されたるより到底

官立學校
道立商業も

門學校の三大官立專門學校設置され尙ほ道立さして甲種商業學校の設立さるゝこに決定したりこ云

背合團員を
逮捕

小學兒童の寄宿舍
京城學寮
京畿道の所管=鍾路校長の經營

學校設備のない僻遠の地に在る人が幼兒を教育する爲めには唯一の機關

朝鮮に移住する內地人の數が日に月に增加するに伴れて小學校の設備もない僻陬地に活動する結果、其の子女を就學せしめ得ざる者が多くある。其の救濟法こして小學校兒童寄宿舍京城學寮の開設を見るに至つたのである、同寮の沿革は

朝鮮教育會が總督府から補助金及び寮舍の貸與を受け大正元年八月七日貞洞(現今基督青年會の處)に開設し朝鮮教育會幹事が經營の任に當り外に寮父母を置いて寮兒の養護監督をなさしめて居た。そして大正四年九月卅日京畿道の所管に移り同時に鍾路小學校長之が經營者こなり從つて寮父母は同校の訓導から囑託することゝなり

寮兒は同校に收容し教育して今日に至つて居る。關係者こしては今では經營者鍾路小學校長片岡喜三郎氏、寮父母同校訓導島作治氏夫妻、炊夫鮮人一名女中內地人一名で寮兒收容定員は尋常一年から六年迄男女合せて二十名經費は補助金一千五百圓で他は寮兒保護者の負擔こしてある、同寮經營の狀況を見るに寮は一家族こし和親團欒を旨こし

寄宿舍的な臭味を持たしめざる樣に留意し寮父母の親情ご寮兒の兄弟的友情を充分味はしめ國民的年中行事、家庭的作業及び娛樂等を適當に按排し且つ家庭の人こして行住作法に缺陷なからしむる樣にして居る。又學習及運動こしては毎日豫習復習は寮父母之を管理し毎夜一時間半乃至二時間は寮父が直接指導して居る

運動場には テニス、フートボール、鐵棒、回旋塔等適當の備へ付を施して運動に便にし祭日曜日等は努めて郊外運動に引率して體力の增進を圖つて居る。衞生狀態に就ても常に細心の注意を拂つて保全に努め安東醫師は特別契約をなして臨診健康診斷等に便じて居る爲め健康狀態は

一般に良好である、右の如くで兒童入寮後は一二週間で全く寮に馴れ其後は實家の父母を追慕するが如き念に驅らるゝ事は無いこ云ふ。尙設備は自習室兼寢室三四坪、食堂一一、五坪、炊事場五坪、寮父母居間六坪、其他建坪四〇坪で運動場三〇〇坪、寮園五〇坪である。斯の如く設備されて居るので就學に不便の地に住居する者が入城就學するには最も好都合の學寮であらう。

十三道の民心
平靜に復る
著しく惡化してゐた黃海道の一部も鎭定

最近に於いて漸く朝鮮各道第三部長の地方巡閲が終了したに關し警務當局の某氏は語る地方民心恟然こして一時は巡閲どころでなかつた最近民心の安定を得たので各道部長は夫々に巡閲を終り勿論南鮮地方は夙うに巡閲を終つてゐるが中央や北部地方が今度巡閲を終つたのである巡閲の報告に徵しても一般の民心はスッカリ落着いて過激であつた小堺なども冷靜になつて居るたゞ咸鏡南道の甲山方面こ黃海道の載寧附近が惡いこ噂されてゐる甲山は江岸の不逞漢の影響を受けるのこ載寧附近は李承晩其他の不逞漢の出所で上海假政府こ一番縁が深い關係であるが此も大分鎭定して全鮮一圓の民心は全く平靜に歸した模樣だ

緩衝機 (投書歡迎)

戀女房後日譚を讀んで
龍山 鶴林生

◎京日記者足下、連日に渡る戀女房後日譚を讀んで私は痛切に小野の小町と鹽谷判官の妻顏世御前とを比較せずに居られません

さなきだに重きが上の小夜衣吾が夫ならで夫な重ねそ

こ云つて一言の下に師直の甘言をしりぞけた顏世御前は矢張賢い女であつた

小野の小町は文屋の康秀の誘言に引かされて

わびぬれば身を浮草の根を絕えて誘ふ水あれば往なんとぞ思ふ

こ返歌してごん底への第一歩を踏み初めて途にはあなめあなめと小町が髑髏の目から薄が生ゐて秋風の吹く度每に目が痛んで堪へられざりしさぞ

◎源氏物語の浮舟も矢張紫式部が評して言へる樣

いとやはらかにおほどき過ぎ給へる君にて在せりと云ふ實に悲歎六時にも舟をまかせ匂の宮へも肌を許せりとか

嗚呼弱きもの汝の名は女なりしかされど御かく現代の女の弱きを求めず寧ろ男まさりの女をこそ望ましけれ

◎世の娘さんを持てる人々願くば百万乗する立派さよお嬢さんを養成せられん事を

同源

第三號 十二月十日發行

◉『同源』發行の趣旨……

▲日鮮兩民族同源論梗概(讀み切二十八頁の大論文) 文學博士 喜田貞吉

▲有史以前の日韓關係 東京帝大講師 鳥居龍藏

▲同本異末(下) 鮎貝房之進

▲江戸時代に於ける朝鮮信使の道中 瀨野馬熊

▲朝鮮信使の使用したる日本地圖 文學士 荻山秀雄

發行所 京城太平通壹丁目 同源社

賣捌所 京城日報代理部、大阪屋、嚴松堂 日韓書房、ウツボ屋

▲本號定價金三拾錢(郵送無料)

演藝案內

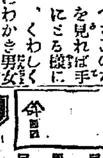
日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 櫻井町 大正館 電話八七三
◎自十二月十日より公開 大寫眞 ◎寶物大理石切山の實況 ◎喜劇モリッツの嘗試 ◎山本、東、藤野、夜叉等一派總出演
□新派悲劇『乳屋の娘』全六卷 彼の都新聞所載迴叟館水先生の原作にして如何に不思議の運命を辿るか
□米國ブレーヤース會社傑作 人情活劇 奮鬪の好機 全五卷 說明者 竹本國夫 石原琴外 宮島保 兒島星月
□日活會社京都派第二部長 市川姉藏一派第四回出場 源平盛衰記 惡七兵衞景淸 怪力鬼神の如き頼朝討取りの悲しき血涙に袖を絞る阿古屋の琴責め
十二月十五日、日曜祭日晝夜開館 入場料特に普通

本町一丁目 電話七八五 壽館 七場
一番目 喜劇 若女房 二番目 新派劇 もつれ錦

黃金町 電話一六三七 黃金館
◎十二月十六日より提供映畫
△喜劇 先生傑々
△舊劇 阪田庄太郎 全五卷 日活會社京都派第二部實川延一郎一座
△新派 かじか賣り 全四卷
△大探偵 千里眼 最長全八卷

京町 電話九七 喜樂館
十二月拾日より提供 一大映畫 ◎コンスタンチン廻遊 ◎新派 下手な音樂師 ◎新派悲劇 火中の美人 全五卷
虎の足跡 全三十一卷ノ內 四卷
戶田新八郎 全七卷

明治町 電話一六〇番 浪花館
十二月十日より開演
▲忘年演藝會 浪花節、輕口、一落語、笑劇、輕業、奇術、落語掛合、舊劇

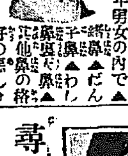
金より大事の ひつみ辭典

東京京橋北紺屋町 千代田出版部

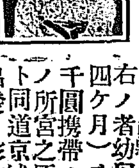
大阪市本町中橋 蜂谷寅藏商店

御料理 眺望の佳絶 料理の美味
仁川山手町 食道樂別莊 仁川宮町 食道樂本店

京城府北米倉町四五 村上商店

軍隊拂下被服
同新古軍被服 紺茶ラシャ外套 狩獵用被服 乘馬用革 防寒具 毛布 雜品 明治被服

鼻が高くなる
隆鼻器無料與


懸賞尋人

本人 鹿兒島市生レ タカ子 年齡二十三歲 右ノ者幼兒(生後一年四ケ月)ヲ置去リ金壹千圓携帶ノ儘行衞不明ノ所宮之原靖柳井テル卜同道京城水原方面へ出發ノ形跡アルニ付其居所尋子當テ御通知ノ方へハ先着一名丈ニ相當謝禮金ヲ呈ス
鹿兒島市平之町三番戸 野添篤健

歲暮大賣出し
十二月三十一日迄
靴 壹割五分引
京城明治町二丁目 古賀喜商店 電話一八三三番

內科 眼科 小兒科 京城黃金町三丁目(電車停留所前)
附屬 京城肛門病痔疾療院
本田病院

忘年會及新年宴會 大勉强
毎々一方ならぬ御引立に預り難有奉深謝候就ては忘年會、新年宴會は特に勉强可致候間何卒多少に拘らず御用命仰付の程奉願上候 敬白
京城長谷川町九十七番地 中等 高等 御料理 金谷園 電話一五二五番

弘田博士 外五博士實驗推薦 各醫科大學各專門學校御用
DOGS BRAND NURTLOGEN
大印 滋養糖
和光堂京城支店

內科 小兒科 京城永樂町一丁目(商品陳列館前)
村上病院 院長 醫學士 村上龍藏

龍山の蝶死 主判明す

娼妓仙丸に戀して 夜堰かれて逢へぬ悲しさに入船より衛來魂抜けたる者の如く樓前の一番に登棲し二階より仙丸に合圖をなし同夜三時頃に手

龍山岡崎町須川村木店々員奈良仙丸に耽溺し其結果首も廻らぬ

平壤の三天

近にて無慘の轢死を遂げたり

◇四温日和◇

戰慄すべき魔の手
銀行襲撃の大陰謀
京畿平北に跨る陰謀團 既に二十餘名は逮捕
見よ銀行襲撃に用ふる兇器の數々を!

過般來京畿道第三部は鍾路警察署に於いて逮捕したる犯人李昌某に對する嚴重なる取調べに事件の端緒を得て晉合團と稱する不逞鮮人の大陰謀を暴露し其一味二十餘名を京畿平北兩道に亘つて逮捕し目下嚴重に取調べ中なるが晉合團の總團長は目下支那通化縣在住の不逞漢金仲亮にして其配下たる李は朝鮮に獨立軍の軍司令部を置く目的を以つて朝鮮に潜入して京城に入り自ら總指揮官となり北鮮地方にて富豪を脅迫して軍資金として合計數萬圓を強奪し其一部を以て支那人某より最新式十連發自動ピストル數十を購入して團員に分配し先ず銀行襲撃の計畫を樹て既に京城府其の某々銀行を瀬踏して將に魔の手は某銀行に及ばんとしたるものなるが京畿道第三部の大活動に依り府內に於て二回に連累者八名を逮捕したるが此れ等の犯人は驚くべき精巧なるピストルを携帯し且つ銀行襲撃に使用すべき電線切斷機、合鍵等多數の兇器を隠匿しありたりと云ふが更に京畿道よりは田邊警部の率ゐる一隊をして李を平安北道に連行し平北第三部と協力して所在の大捜査隊に努めたる結果同地附近にて共犯者十四名を十三日迄に逮捕し李の實家畑地に隠匿せし爆彈十數發を發見するに至りたるが該爆彈は今日迄不逞漢の手に一度も使用せられざる別種なるものなりと

白瀬飛行大尉が 父君の志を嗣いで
兩極探檢の壯圖
經費は廿萬圓の計畫 臨時議會で請願通過

南極探檢と言へば直ぐに白瀬中尉の名を記憶から呼び起す事が出來よう明治四十三年十一月三十日三百噸足らずの開南丸が南極探險の主人公白瀬矗中尉一門と樺太産の猛犬二十頭を搭載して品川を發した時この 空前の 一大壯擧に天下の耳目は聳動しつゝもその極めて冒險的なのに秘かに杞憂したものであつたそれが明治四十五年卽ち大正元年には目出度く初期の目的を遂して白瀬中尉は意氣冲天の勢ひで再び品川灣頭にその勇姿を現し當時の後援會長大隈侯以下に迎へられて 凱歌を 擧げたのであつた、それから丁度一ト昔 白瀬中尉が最早冒險小説の主人公のみならうとする今日再び同氏に依つて今回は南北兩極探險といふ一大壯擧を敢行する計畫が進行を見つゝある、それは老中尉の息白瀬知氏が今は海軍の豪膽飛行大尉として佐世保の軍港にあり氏は飛行機製作にも卓拔の技倆あり傍往年父 中尉が 南緯八十度五分まで行つてノルウエー人アムンドセンの如くに極地を究め得なかつたのを終生の遺憾事として其の意志を子息に繼がしめんとの壯圖であるが既にこの事業は着々老中尉の手によりて 進行を 見、探檢滿十週年記念たる大正十一年新春には計畫の大要が發表出來得るといふ豫算目論見書による經費は二十萬圓で既に老中尉は現農商務次官田中隆三氏を介して臨時議會に提出し滿場一致 採擇に 決定してゐると云ふ意見書は斯うである

一、南北兩極調査に要する經費二十萬圓下附並に飛行機附海用二艘及船舶一艘貸與願ひたし府下世田ヶ谷太子堂三四九白瀬矗(當日の官報再録)云々とある

淺間山大降灰

淺間山は十四日午前五時三十分大音響を發し四分間に亘りて火焰電の如く認められたるが五時三十九分より九分間に亘りて前橋地方に降灰あり一坪三十七匁五分を算し而して降灰は北風に煽られて前橋高崎全市を襲ひたり吾妻郡地方は多大の被害あるべく目下調査中なり(前橋發電)

二名を射殺

平安北道義州警察署笹田巡査部長の率ゐる捜査班は本月六日午後十一時義州郡古館面春谷洞に於て不逞者變俊浩の部下張大鳳及び張得珍を逮捕し取調べたるに彼等は十一月下旬支那寛甸縣より入鮮したる八名一團の不逞鮮人の一派なる旨自白したる依り右二名を道案内として捜査續行中九日午前二時頃義州郡城の郡界東檢嶺に差しかゝるや同類と覺しき賊二名突如前面に現れ我に向つて發砲したるを以て止むなく我よりも應射し右二名を殪し火繩銃一、火繩短銃一、火藥、露貨地圖等多數を押收したりと(新義州電報)

朝鮮人に化けて 岩窟に巢ふ賊
放免の日監獄の品物を失敬した 三年の苦役にも懲りず 三度檢事局へ……

廣島縣佐伯郡中村大字岡大里一八三山口宇一(三一)は竊盗罪で永登浦監獄に苦役し本年四月放免の風に當つたが其後は 鮮人服 を纏ひ言葉迄鮮語を用ひ府內西界洞一四八の岩窟に乞食連中と共に起臥して居たが持つて生れた惡根性は三年の苦役でも治らず又々市內を徘徊し竊盗數件あるを七月發見本町署に檢擧したが當時は全く鮮人に化すませて名も 李在善 と稱し取調べに對しても鮮人で通過した裁判所も亦鮮人で通り三ヶ月の刑を受けて西大門監獄に服役した十一月放免の日も同監獄から數點を失敬して出て來たと云ふ代物であるが出獄後は南大門外白神洋行に雇はれ中主家の 名を騙 つて南大門通り五の吉村孫三郎から白米五斗旭町一の深堀牛肉店藤本金物店から理髪機械其他を誤魔化し南大門驛税關出張所の門鑑を竊み取り木戶御免と威張り乍らチョイ〳〵食料品等を拔き取つては西界洞の 岩窟に 持ち歸つて居たそれを本町署柵橋刑事が探知し西界洞の假寓に冷たい夢を結んで居た所を『御用ッ』となり十三日檢事局へ三度目の御厄介にと送られた

翌朝見に行つたら 首が浮いて居た
それを更に天神川に投げ込んだ 大阪の怪屍體事件續報

大阪府下東成郡野江六反池の胴體事件犯人佐藤忠助は十三日午前十一時より午後四時三十分迄の長時間に亘り田口刑事課長取調べの結果殘虐極まりなき犯罪の全部を自白したるが斬り放したる手足首の行方に就ては之を油紙に包み胴體と共に六反池に投げ込みしも翌朝同池を見に行きしに首のみが水上に上がり居たるを以て拾ひ歸り自宅に隠し置き日沒を待ちて天神橋下流の堂島川に投げ込みたりと自白せり爲めに十四日水上署は堂島川一帶に亘りて大捜索を行ひ一方にては朝來青年會員の手にて大捜索をなせり(大阪發電)

犯人の義父自殺す
婿の犯罪を悲しんで

過般六段池に於て胴體事件發生するや同犯人は佐藤忠助なる事判明して以來佐藤の妻よしの實父に當る大坂市役所土木改良課に勤務して居る內貫傳次郎は快々として樂まざりしが十三日に至り佐藤は其犯行を自白したりと聽くや同夜家を出でたる儘遂に歸宅せず家內の者は心配の餘り所々搜索したる所十四日午前七時市內今宮町なる下水吸取砂土の堰上に死體となりてかゝり居るを發見し今宮署より檢視の結果覺悟の自殺と判明した

眼覺めたる鮮人
電車常務員結束して 禁酒貯金を勵行し 生活の向上を圖る

京城電氣瓦斯會社は獨專事業だけに横暴の振舞ひも多く一般市民の 怨嗟の的と なるとも あるが坊主憎けりや袈裟迄憎いの譬へに洩れず乘客中往々にして電車常務員に對し暴言を吐き散らすものも無いではない併し其電車乘務員は本年五月から自發的生活の向上を圖ると共に 精神の修養 に努め如何なる暴言を乘客から浴せられても決して是に間ひ返す事無く忍して乘客に滿足を與へる事に努め殊に生活の向上を圖る爲めに禁酒貯金を勵行し互ひに規約を遵守し若し禁酒を破つたものはそれだけの罰金を科せられることなつてゐる 制服着用で 酒幕に入り若くは酒臭き息をしてゐるものを發見した場合には三圓乃至五圓、又自宅で酒を吞んだのを發見された場合には一圓の罰金を出す事となつて居り、爾來是を勵行した結果昨今に至りては酒臭き息を吐くもの無く爲に能率も非常に增進して來た五月以前までは全員の約二割は缺勤勝ちであつたが此の規約勵行の結果今では一割弱となり 又貯金勵行 の結果最初の月は三百五十圓位しか貯金しなかつたのが昨今では一千圓を突破し目下七千餘圓の額に上つてゐる是を資金として本月から購買組合を組織し日用品を安く買つては會員に分配するので家族は何れも大悦びであるが之が影響として東大門附近の酒幕が 立ち行かず 最近四軒も 店を疊んで 了つた珍事實がある電車常務員の覺醒は一般鮮人にも感化を與へるに違ひない。右に就き乘務員の一人に其決心を稱揚すると『いゝえ私達の力で出來たのではありません五月以來毎月 丹羽清次郎 先生の精神講話を聞き始めて眼覺めたのです』と答へた

往年馬賊を驅使した 快男子『天鬼』
薄益三氏が入城した 內蒙古に新日本村を建設の大氣焰

往年滿蒙の野に馬賊を驅使して其の名を轟かした快男子薄益三氏は內蒙古に新日本村を建設すべく其後半生の大努力を捧げつゝあるが最近所要の爲め東上の途次十四日夜入城巴城館に投宿せるが氏は[illegible]特等一等車に悠然たる五頭[illegible]鴻章式の髭を垂れ蒙古產業公司の[illegible]に化けた氏は恐ろしい程元氣で記者に向けながら語る『私の事業は內蒙古の巴林旗に本據を置き附近で牧畜農業を經營してゐるが內地人が約卅、鮮人、支那人併せて約百の人間が此努力してゐる何しろ未だ實測も出來ぬ程の廣大な原野で我々の勢力範圍は淺いが我々の勢力範圍は幾何程か判らぬ程に廣大な原野です本年初めて朝鮮人約十萬町歩を入れて水田を初めましたが收穫も多く結果は 頗る良 好なので來年は大規模にやる考へです。蒙古人の我々日本人に對する感情は至つて良好である本年初めて入つて來た鮮人達も支那人に對して一等國民たる決心と自信で內蒙古には百五六十萬頭の緬羊が居る若し日本帝國が此緬羊に着眼して適當の施設と改善發達を企畫すれば遠くも三十年內には羊毛自給自作問題を 自給自作 問題に就ては何も外國へ頭を下げるばかりでは駄目である今日本の勢力範圍に在る內蒙古には[illegible]な牧畜業は確かに有望であるが惑の牧畜業は確かに有望でも滿洲へ牛馬を夥しく出して居るが之は牛馬等の生產地で今日迄大繁昌ですよアハヽヽ。此巴林旗は三十の王侯が今日では夜明け前から施療院の門前市を爲す 醫藥に接 した鮮人は神の如しと云つた按排で開院當初官吏を暗殺する計畫なりしと設立夫に身を變じ他日時機を[illegible]すが交通の[illegible]新日本村の施療院を開いてゐま[illegible]

坑夫に化けて
當路官吏暗殺の陰謀 捜査班に二名共射殺さる

本月四日午後十一時平安北道朔州郡南西面舜上洞に於いて朔州警察署橋田巡査の率ゐる五名の捜査班が警戒中、坑夫體の怪しき鮮人二名が腰に布呂敷包を纏ひ徘徊し來れるを發見し誰何したる處突然我に向つて發砲したるを以て我も之に應射し其一名を殪し他の一名は我に向つて發砲しつゝ逃走せるを追跡遂に之を殪しつ我に何等の損害なし。此不逞漢中の一人自稱金昌鉉は負傷後約二十分にて絶命せるが此間に取調べたる處に依れば彼等同志は八名にして各自拳銃を携帶し支那寛甸縣を出發して十一月廿三日龍川郡附近にて鮮內に潜入し八日間は龍川郡內に潜伏し一部は龍川郡鐵山方面に分行したるが一時鐵山坑夫か電線架設工夫に身を變じ他日時機を看て同團の妨害となるべき當路の官吏を暗殺する計畫なりしと右自白に依れば犯人は左の如し自稱平安北道慈城郡中江鎭李女金昌鉉(三)(射殺)自稱京畿府江[illegible]郡內面[illegible]內留里劉[illegible]里(射殺)にて尙此交戰に於いて鹵獲したるものはコルト式自動拳銃二、同彈丸一一五、不穩文書數十通、現金七十九圓餘なり(新義州電報)

高唱絶叫 して止まぬのに私は國策上此問題の解決を確信してゐるので决を如何なる[illegible]ツテ云ふのですか…『先づ大丈夫今日馬賊には立派な頭目が無いでせう……』と光つた瞳に 會心の笑 が浮ぶ斯くて氏は雪の京城に十四日夜は一泊し東上の上暮れの卅五日迄には蒙古で越年するとか。

活動寫眞に撮影
近藤刑事の葬儀を

二百五十圓を賜はつた外部長に昇進したが訃報と同時に月俸八十圓に昇給特別賞與二百五十圓、弔慰料一千四十圓家族扶助料四百五十九圓、年末賞與三百五十圓を支給され京畿道各警察官から月俸百分の一(早稻々千五百圓)を香奠として送られる殉職刑事近藤茂禮氏の葬儀は豫定通十五日午後一時パゴダ公園東鋪路署長官舍出棺若草町曹洞宗別院で永別式を行ふ管である當日は總督府では行列を活動寫眞に撮影する筈になつて居る

名刺交換會
場所は公會堂

今年も餘す處十五日となつてボツ〳〵各方面では新年の仕度に取懸つて居るが就中京城府民の一大新年祝賀名刺交換會は過日

近藤刑事の 葬儀は十五日

兇賊の爲めに斃れた近藤部長の遺骸は十三日午後東大門署裏鍾路署長官舍に安置遺子茂一氏勝君近親者同僚數名通夜した。葬儀は十五日午後一時署長官舍出棺鍾路通りを經て南大門通りに出で黃金町一丁目から左に折れ若草町曹洞宗別院で佛式告別式を行ふ管である當日の葬儀委員左の如し

▲委員長國宗鍾路署長、告別式場委員、福田警部、式次第設上係、吾孫子警部補、庶務吉孫子警部補▲設備委員秋吉警部補▲葬儀委員鈴木警部▲接待係三輪警部補▲車馬整理員豐原警部補▲會計員田警部補▲棺側鈴木警部、豐原警部補 當局に於ては遺骸當時警察官

酒豪と健啖家 (4)
逆立の名人
階段辷りの奇藝 酒は外遊時代に覺えた 警務局の 丸山事務官

僕が酒豪だッて……串戯も好い加減にして貰ひたい、そりや酒は好きさ好きと云つてもガブ吞みの方で何れ位飲めるか分んないが計つた事が無い、無論酒豪なんて呼ばれる程の代物じやないよ、抑も 僕が大酒家の やうに世間から誤解されるには種々な原因がある今日はそれを白狀しやう、一體僕は學生時代極めて謹嚴な方で酒なんか一滴も口にした事が無かつたが海外留學中は何時となく手が上がつて了つた、御存知の通り留學生時代の方で何れ位飲けるか分らなんた、御存知の通り留學生時代の歐米と云へば先づ酒か女の何れかを選ばねばならない ソコデ僕は酒を執つた、讀書が過ぎて眠られぬ夜など強い酒を盛に飲つて苦痛を忘れやうとする、是が抑手の上がるのは當然、僕のは好きで味ふのさ、それからモ一ツは是れも 逆立をやつて 見せた事……

老妓に加代に 出遇つたのでなくガブ飲みの方だから譯が分らない、京城に來てから例の爆彈事件で約三箇月の籠城、それが濟んで僕は花月の宴會に出た、久し振で酒を呑んだのだから大いに醉つたよ、その夜だ、廊下でヒヨイと閑盤の大きな女に映じたので何うした機か柔道の手でドシンと投げ付けたのさアハヽヽ、その次は警務局長が新聞記者諸君を招待の席上で主人側から隱し藝を出す事となつたが誰も出る者が無い、ソコデ僕が眞先に飛び出し裸一貫の素裸になり逆立をやつて見せた……花月だつたと思ふ、大に飲んだ揚句、誰だつたか二階の階段から辷り落ちるものがあるかと云ひ出したので僕は『乃公が滑つて見せる』と腕を胸で組み、仰向けに寢て兩足を揚げ、背部のみで一氣に辷り落ちたのさ、此時は大分醉い音がしたので藝妓や客が喫驚して座敷から出て來ると云ふ大騷ぎサ しかし本尊の 僕は少しも怪我は無かつた、實は斯んな譯で世間では是れを聞き傳へて僕が大酒飲みの樣に誤解してゐる譯だが僕は評判ほど酒豪では無い、先づ瓢簞から駒が飛び出した位の酒豪だと解釋して置けば當らずとも遠からずだらうアハヽヽ……

巡查、巡查を 射殺す
惡戲から悲劇

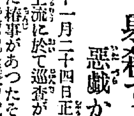
十一月二十四日正午頃鴨綠江の上流に於て巡査が巡査を射殺した椿事があつたそれは咸南新乭坡鎭警察署巡査金變淮が地應里派遣監視動を命ぜられ自己の携帶せる銃器に彈丸を裝塡し安全裝置に爲し勤務中當日十二時頃江岸巡察巡査張鳳化が來會に對し銃口を擬して戲れたるに張巡查も亦冗談に擊つて見よと金巡查の差向けたる銃口の前に直立し勿論銃裝塡の安全裝置あるものと信じ居たるを以て同一概念を抱きて居れる金巡查は其れでは打つぞと引金を引きたるに意外にも安全裝置したる筈の銃裝が發射して張巡查の胸部を貫通死せしめたるものにて全く惡意なき過失なりしと

燒ケ嶽爆發

十四日午前五時十分より二分間に亘りて飛彈高山にて一大音響あり原因不明なるが燒ケ嶽の爆發ならんと推測せらる(飛彈高山發電)

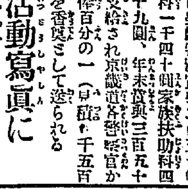
演藝
▲黃金館 十五日より新旧劇『先生様』全四卷▲新派劇『阪田庄太郎』全五卷▲探偵活劇『千里眼』全八卷

北支那飢饉義捐金
一金五圓也 金光教南大門敎會所婦人會
一金四圓卅九錢 平壤大同郡院隣普南公立普通學校職員生徒一同
計九圓卅九錢
累計五千十三圓八十九錢也

反物 金十一圓八十錢均一 新荷着 本場秩父銘仙

京城 本町 おかめ(?)

赤い鳥
一月號 純藝術的な童話童謠 學校家庭用の好讀物
▲お馬……鈴木三重吉
▲アグニの神……芥川龍之介
▲おぢい樣……久保田万太郎
▲支那船……久米正雄
▲坂……西條八十
▲魔女(色繪)……清水良雄
▲犬と雲(作曲)……近衞秀麿
▲藥罐熊……江口渙
▲神さま……宇野浩二
▲二匹の蛙……小宮豐隆
▲ちん〳〵千鳥……北原白秋
壹冊送料共卅壹錢・半年分同壹圓八拾錢 東京市外高田町目白 振替東京二九四壹六 赤い鳥社

專賣品 新案品 發明家養成講義錄
發明者たらんには發明家となるに秘訣あり本校は斯く國家の發明奨勵の趣旨に則り發明家を養成し發明の力に依つて設立さるゝものにして短時間に大發明家を養成す一人者たれ本校に入學して成功者たれ 目下講習生大募集 規則書ハガキにて申込次第進呈
大日本發明學校 東京市小石川區指谷町六〇

社交の秘訣=交際の武器 式辭答辭 挨拶演説 五分間雄辯集
近時各地の青年團學生に自由自在に出來る修練の寶典とは雄辯を尚ぶの氣に乏しき爲に…[illegible]

自在に自分の思ふ通り即席演説の修練寶典である
◇即席演説が自由自在に出來る修練の寶典
特價七拾錢 送料金 白羊社 東京市日本橋區新和泉町

雄辯研究生募集
雄辯の研究には眞に呼吸を要す本社は青年雄辯家として上達するものに非ず先づ第一期の課程を習得せば如何に身振り態度發聲法を研究せば如何にして上達するや青年雄辯の士速かに御申込あれ
△實地上達を望む人來れ
△發行全期六冊四冊半期三冊一圓拾錢
△發成に全力を盡す
◎東京赤坂丹後町 日本青年通信社雄辯部

男女兒 通學用 都コート (新案特許四九二七二號)
紐いらず帶いらず衞生に經濟に通學用に日常の御召用に東京市高輪小學校長柗島先生には通學用として理想的の上着なりと推獎せらる都コートは所謂岡田道一先生の紐や帶で胸を締むる兒童の胸廓は年々狹くなると御說に反かず衞生に適ふる御召に
地質は黑瓦斯毛にて外套を代用す

(はがき註文は代引換費數で送る)(送料內地廿三錢領土五十錢)
男子用 元祿袖 一尺八寸 二圓七十五錢 二尺四寸 三圓七十錢 女子用 元祿袖 一尺二寸 三圓三十五錢 一尺六寸 四圓二十錢 二尺八寸 四圓九十錢
販賣元 東京牛込區白銀町三五 振替東京二三五二九番 ミヤコ商會

淺井式飯蒸器專賣特許六〇一四四號
淺井式飯蒸器ハ多年苦心ノ結果發明シタル始メテ製品ナリ本器ノ特長ハ蒸氣ノ力ニヨリ飯ヲ炊キ直湯ガ之ヲ吹出ス…[illegible]

家庭の一大福音
製造發賣元 朝鮮龍山漢江通 金物商 住友支店 同 製造部 電話三六〇番

慶安太平記

小金井芦洲講演

第四十三席

取『少々お待ちを願ひます』と取次が師匠の許へ參りまして、取『先生、先生』守『何だ』取『お茶の水の丸橋忠彌先生がお入來になりました』守『何か御用があつてか』取『どうかお上り下さいませと申しました處が、別段上るまでの事ではないが、昨日註文をいたした二十四孝の鬮はまだ出來には及ばぬかとのお尋ねでございまする』守『フン、そりや可笑しな話し昨日御註文になつたばかり、尤も昨日お出でになつた時に、仰しやつた言葉もあるが、然し今日御催促にお出でになるとは思はなんだ、では可哀にして未だ出來仕りませぬと申上げるやうにな』取『ハイ畏まりました』取次は再び玄關へ立出でまして 取『大變にお待たせいたしまして相濟みませぬ御註文の鬮は未だ出來仕りませぬ』忠『あ、左樣か、然らばまた參らう、守信どのに宜しう云うて吳れ』その日は歸つて仕舞ふ、翌る日の晝頃になると、忠『賴む〳〵』取『ドーレ』取次が出て見ると又丸橋忠彌が來て居る 取『これは〳〵お茶の水の先生能うこそお出で、何か御用でございまするか』忠『過日註文いたした二十四孝の鬮はまだ出來は仕らぬか』取『暫くお待ち下さいませ……先生ッ、丸橋先生が鬮の御催促に見へました』守『左樣かまだ出來しませんと申上ろ』取『ハイ』玄關先へ參りまして 取『まだ御註文の二十四孝の鬮は出來仕りませぬ、遠路の處御足勞にございまするから。出來いたしますれば當方より御知らせいたしませうか』忠『構ふな、催促には身共好んで參るのだ、出來て居なければそれで宜しい、また參らう』その日は歸る、翌日になると又やつて來た 忠『どうだ、まだ出來いたさぬか』ハイ、まだ書き初めもいたして居りませぬ 忠『ア、左樣か、然らば又參らう』毎日々々刻限も違はず晝を過ぎるとやつて來る、狩野の塾生はもう此節では馴れちまつたものですから、刻限を計つて誰か一人玄關先へ出て待つて居る、で向ふの方から丸橋忠彌がやつて參りますると 取『いまだ二十四孝の鬮は出來仕りませぬ』と此方で先へいつて仕舞ふ、すると忠彌の方でも平氣なもの 忠『ア、左樣かそれでは又まゐらう』と言ふ風で毎日々々まゐりまする、毎日煩い程飽きずにやつて來るが遂には端極附の寶藏院流の稽古槍を擔いでやつて來るやうになつた。之れを見て塾生共皆驚いた 塾『どうも隨分と變つた先生があればある者、天下に名の人には奇癖があると云ふが根良く毎日々々來る』と私語て居る有樣、或一日の事、相變らず本鄉お茶の水を出て中橋模町狩野の玄關へ指してやつて來るでヒョイと見ると桐胴の駕籠が一挺玄關の此方に置いてあるし供方の者が供待部屋に關居を致して、何か高ッ調子で話をして居る、其駕籠には菊水の紋を打出あるから見れば由井正雪に相違ない、忠彌は腹の中で 忠『ハゝア、奴め、今日は來て居るな』と思つた、大體由井正雪と云ふ人は、甚間は道場で多くの門人に指南をして、晝過ぎになると出入りする諸侯方へ出る、その時のごとも仰々しい支度と云つたら大變なもので、供方なんども多分に連れて、恐ろしく世間の耳目を惹くやうにして出歩くだが狩野守信なんどの處へ來る時は、こりや至つて質素なもの尤もこれは自分の嗜好で遊びに來るんですから自然供方も少いけれどもその質素が世間一般から見れば矢張仰々しい風で供方が今日も七八人も居る、忠彌が此の樣子を見て腹の中で占めたと思つた

皮膚科 專門 外科 扇田醫院 京城太平通二丁目 電話二三五八番

人參王
津村兄弟商會 京城本町壹丁目 電話 一四八〇番 一八七〇〇番

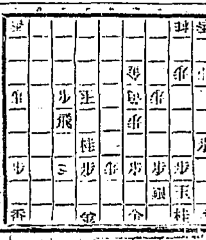
將棋新手合(五)

於京城黃金町三丁目二二五 滿呂木將棋所

飛落 六段 ▲滿呂木光治(京城)
初段 △桑尾銀之助(京城)

(圖は御覧指了迄の局面)

△持駒 桑尾氏銀桂歩



△七七飛 ▲八六銀 △七九飛 ▲八八銀(ト) △五六桂 ▲六五玉 △四四桂 ▲七九銀ナル △同金 ▲五八歩ナル △同金 ▲五七歩 △五九金 ▲四四金(チ) △五三角 ▲五五角 △八六角ナル ▲三六桂 △一七玉 ▲七五金(以下次號)

滿呂木六段講評

△(ト)八八銀打ち早し兎に角六五玉と早逃げする處なり
▲(チ)四四金惡手なり
▲(リ)七五金打ちは七六金と防禦する方優れり

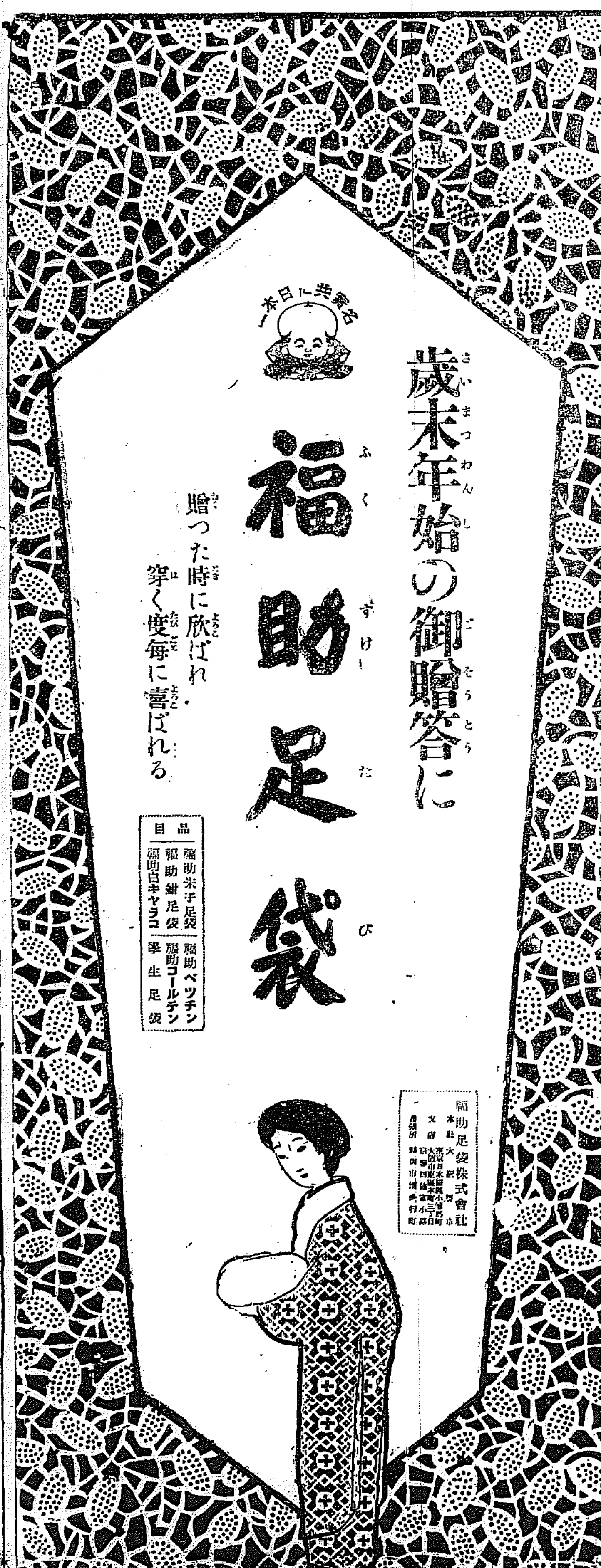
タオル
タオル滿鐵一手販賣 京城若草町四〇 卸商 上月商店 電話一〇三五番 振替京城五三一番

十二月十七日

(舊暦十一月八日)

▲金曜日 ▲己酉 ▲六白 ▲暗剣戌亥 ▲赤口 ▲虚 宿▲收

▼六白▲如何に奮發しても結局は無收穫に終る日短氣にして凶
▼七赤▲上首尾の日平生なれば難事とする問題も譯なく解決す
▼八白▲何事にまれ効果あるべからざる日新事不利舊事は平調
▼九紫▲物事喰ひ違ひ易く面白く起ぬ旅行求職結婚等何れも吉
▼一白▲幸運盛大の日文藝又は商業等大に發展す進むほど有利
▼二黒▲運氣十分ならず諸事捗き易きも焦ると損を招くべき日
▼三碧▲始終よく考へて行ふべし中庸を得ば自ら吉運廻はる
▼四綠▲平運の日辛苦あれば相當の利あり急がば損する事あり
▼五黄▲纏まりよき日商取引大利を占む訴訟沙汰の和解上首尾



ガソリン消防 喞筒界の最高權威
專賣特許 森田式自働喞筒機

營業科目
專賣特許森田式自動消防喞筒機
同消防喞筒自動車及貨物自動車
陸舶用發動機及礦山灌漑用喞筒
電氣起重機及電氣諸器械器具
腕用ポンプ消火器及防水器具一式
(カタログ御申越次第進呈)
工業及灌漑用大鑿井請負

株式會社 森田製作所
營業所大阪南區久左衛門町一 電話南六一七番 三三六九番
工場大阪西區市岡町二七五 電話西四一一四番 四一一九番
東京出張所東京日本橋區馬喰町二丁目 電話神田長五一七番

御婦人化粧用 シモンクリーム 佛國製 塚谷洋品店

生等時勢ノ要求ニ鑑ミ共同事務所ヲ設置シ左ノ事務ヲ懇切叮嚀ニ取扱申候
申件ハ必ズ三名共同研究致候ニ付キ一名ノ辯護士ニ對スル費用ヲ以テ三名ニ依頼シ得ル效果有之候

△訴訟事務 民事 商事 刑事
△仲裁判斷
○鑑定及和解
○契約書及定款等ノ起案
○會社ニ關スル法律事項
○事務信託及管理信託

切山 金 堀 共同法律事務所 京城府黃金町一丁目百四十三番地 電話一一三八

前京城覆審法院判事 辯護士 法學士 切山篤太郎 自宅 京城府黃金町一丁目百五十九番地(電長一八六九番)
辯護士 法學士 金雨英 自宅 京城府桊二洞九十六番地(電長一三四一番)
前京城地方法院判事 辯護士 法學士 堀直喜 自宅 京城府旭町一丁目六十三番地(電五三一番)

今般京城地方法院判事ヲ辭シ右ノ如ク辯護士ノ業務ニ從事致候
堀直喜

治淋內服劑 ゴノサルビン
ゴノサルビンは既に數年間治療界に於て其効力を確認せられたる治淋內服劑にして、白檀油の如き胃障害、腎臟刺戟等の副作用を有せざるを特長とす。
(適應症) 急性及慢性淋疾、女子尿道淋
(瓶入廿五球入六十錢 五十個入一圓六十錢 百個入三圓 ...)
發賣元 大阪市東區道修町 武田長兵衛商店 電話 本局長五〇二四番 長五〇二七番 振替口座大阪 ...

往診 自午前八時至午後十二時
宅診 花柳病は特に夜間診察(午後一時以後)
仁川仲町一丁目(仁川倶樂部隣)
壬生醫院
入院隨意 電話六一六番
略痰、血液、糞尿其他細菌的檢査診斷の需に應ず

滿洲安東縣江岸通一丁目
安部油房製品一手販賣 豆粕豆油取扱 日陞公司
電話日本三貳・九三・貳九五 支那一貳一 電略(三) 振替貯金口座京城四一六番
豆粕豆油製造業 合資會社 安部油房 代表者 金井佐次

三十五圓以下 米の不賣同盟

農村擁護米價低落阻止運動は昨今隨所に起り農村を風靡せるが大分縣にては十三日午後各郡市農會長會議を開き種々協議の結果一石三十五圓にあらざれば賣却せざる事を決議し右不賣同盟に就き約十二萬枚の趣旨書を印刷して縣内に頒布し決議を實行する事とせり（大分發電）

東京週末金融

前週末に於ける東京交換所組合銀行の帳尻左の如し（東京電報）

預金 十六億九千六百萬圓
前週對比 三百五十萬圓増
貸出 十八億四千七百萬圓
同 一千九百萬圓
手形有高 二億一千八百萬圓
同 五千六百萬圓増

東亞煙草總會

東亞煙草株式會社にては來る十二月二十七日午前十時より東京麴町有樂町の同社に於て定時株主總會を開催し左の案件を附議す

一、二十八期營業報告（自五月至十一月）財産目録貸借對照表、損益計算書承認の件
一、利益金分配案決議
一、取締役員數改正の件
一、監査役任期滿了に付改選の件

○日銀帳尻 十三日現在左の如し 千圓單位

發行高	一、二一七、九六一
正貨準備	一、一二一、九六一
保證發行	一二〇、〇〇〇
貸出高	二〇四一、四九

○鮮銀券日報 十四日現在左の如し

發行高	二〇、六二九、二六二
正貨準備	五一、〇四二、九四六
限外發行	[illegible]

○京阪金利 十四日現在左の如し

	東京	大阪
コール	二、〇〇	五、〇
無條件	二、八〇	二、八〇
翌日物	二、〇〇	
六十日物		
普通歩合	二、七〇	三、〇〇

財界閑話

朝鮮の取引所税は取引所令の制定と共に到底免れ難い所で在た▲その取引所令はまだ出さうもないのに取引所税は財政の都合上來年度から課するらしい▲その率や方法は一向分らぬけれど大體内地並であらう▲仁川取引所から收るのも無論よいが仲買人にも相當課するがよろしい▲でないと仁取の仲買はウマすぎる▲然し取引所税所得税るから今後六割以上の配當は先づ望めぬ事とならう▲ミ同時に中々仁取も負擔するやうになるであらう▲仁取としては取引所税でもかけられぬと現在の如き配當制限の如きは當然撤廢さるべき配當制限を附せられては結局積立金が殖へて仕末に終へぬ事となる▲取引所税を課せられれば所得税は當然現行より減るであらう▲然し税金の納入は當然殖へるものとして、株は一種の觀材料かとも云ふ▲殖銀では米價の維持策として生産者に對し金融を大に附したいとの意見を有つてる▲米價のある程度までの引上は朝鮮財界の顧勢維持上必要だ▲此の意味に於て、殖銀のみならず他の銀行も倣つて欲しい

株式（大波瀾）

前場は低落

前日安値一圓五十錢より後場四圓と反撥し大揺戰裡に結局三圓七十錢と打ちめたる相場は硬軟最後の決戰日て立會前より頗る緊張の色ありしが立會へば劈頭新東の猛四圓五十錢と八十錢高に寄付き

中津留、田中の連續賣崇しく

大勢既に定まり

再度の臺割

後場立會延刻

賣方遂に勝つ

戰は遂に賣方側の勝利

玉過剰

買方の氣腐

第一期戰了る

年末戰は如何 新たなる作戰

全部分解合の屈辱を雪ぎ

敗因は嫚の部分解合に在り

渡株の半數は高歩を附したる借玉

京城現株市場出來値（十五日）

銘柄	前場	後場	銘柄	前場	後場	銘柄	前場	後場
京取	寄 云、五〇 引 三、四〇		鮮銀	寄 引		京電	寄 引	
殖新	寄 三、二〇 引		同新	寄 引		同新	寄 引	
銀新	寄 引		漢銀	寄 引		電興	寄 引	
東新	寄 引		同新	寄 引		東電	寄 引	
東拓新	寄 三、〇〇 引		朝銀	寄 引		朝煙	寄 引	
仁取	寄 引		東拓	寄 引		朝郵	寄 引	
鮮銀	寄 引		鮮土	寄 引		殖鐵	寄 引	
同新	寄 引		朝紡	寄 引		中鐵	寄 引	
殖銀	寄 引		滿毛	寄 引		滿鐵	寄 引	
東銀	寄 引					同新	寄 引	

初相場豫想 懸賞募集

初立會（一月四日）

京取株 前場寄附値段並に大引値段
仁川期米 前場三月限一節公定値段

右豫想を募集す其條件左の如し

適中者 各題につき一名を限り金五圓宛を贈呈す適中者なき時は最も近き者を取る多數を出したる時は抽籤を以て定む
應募 は葉書一人一枚限りとす（但し兩題連記差支へなし）

一、締切は十二月廿五日（本社着分まで）
一、發表は大正十年一月七日
一、應募者は住所姓名を明記する事
一、宛名は京城日報社經濟部
條件に反する者はとらず

京城日報社 經濟部

本日の大受渡

問題の受渡たる京取第一期の決濟は愈々本日行はれたるが株數は一萬二千十枚に達し机上株券の山を成して恒例維一方ならず爲めに後場立會一時間延刻せり

金秀の三千三百六十枚

時間半の延刻となれり其の重なる渡方は金秀の三千三百六十枚を最とし方、三好の八百枚田中の七百五十枚なるが受方は新田五千四百枚 吉川崎 吉見

（渡方）有田二七〇▲白井五〇▲渋二〇▲方八五〇▲森野一三〇▲犬島四七〇▲三好八四〇▲中津留一四〇▲金秀三三六〇
（受方）池田一八〇▲吉見二〇七〇▲櫻谷一七九〇▲川崎二二四〇▲新田五四〇〇▲南一〇▲權三〇〇

受渡株一萬餘 出來高新記錄

十五日後場の立會は受渡しに手數を要するため一時間の延刻をなしたるが受渡株數は一萬二千餘枚 而して十四日後場より十五日前場に至る賣買出來高は九千餘枚を算し新記録を作れり

主要株歩み値段

	京取	同新	東新	殖銀	鮮銀	仁取	...
前場	二四五〇	三三五〇	一九〇〇	六五〇〇	一六五〇	六五〇〇	五〇〇〇

前場內氣配 [illegible]

前場内氣配

鮮銀百八圓五十錢買▲殖銀四十四圓四十錢買▲朝紡十三圓五十錢賣三十錢買▲滿毛十三圓三十錢賣

前場の乙部

今前場乙部の商内は安取十七圓六十錢、森鐵二圓三十錢と出來せり

㊥ 安東證券信託仲買人 原田株式店 安東縣市場通 電話七四番二七〇番 八六番四四〇番

紐育株況

株式市場は引立たずスチール株七十九弗と同事、アナコンダ銅株卅八弗と同事なり（紐育十三日發電報）

米棉暴落

棉花市場は一般的賣物あり一月限十四仙九五となり二圓五十錢安を報じたり（紐育十三日發電報）

上海株況

上海株式市場は手堅く上坂株當限四十四兩（二兩高）日華紡績株三十四兩（半兩高）綿糸水月組合百四十二兩（同事）對日爲替七十一兩（二兩高）となれり（上海十三日發電報）

銀塊市況

倫敦銀塊相場は手堅く四十片八分の七となり八分の三方引返せり又十三日發紐育銀塊相場は六十二仙八分の三と八分の五方昂騰せり（倫敦十三日發電報）

東京現株特電

銘柄	十五日前場	十四日後場
鮮銀	一三〇、〇〇	一三〇、〇〇
同新	三三、〇〇	三三、〇〇
東拓	四七、〇〇	四七、〇〇
同新	一一、〇〇	一一、〇〇
同銀	九八、〇〇	九八、〇〇
殖新	一五、〇〇	一五、〇〇
同新	一三、五〇	一三、五〇
東株	四一三、〇〇	四一三、〇〇
同新	一七〇、〇〇	一七〇、〇〇
滿鐵	一二五、〇〇	一二五、〇〇
同新	七五、五〇	七五、五〇
滿毛	三七、五〇	三七、五〇
朝紡	一二、〇〇	一二、〇〇
滿鐵	二一、〇〇	二一、〇〇
日紡	八八、〇〇	八八、〇〇

大阪株式特電

銘柄	十五日前場寄付	十四日後場大引
大株	一一八九、〇	一一八九、〇
郵船	一三八、八〇	一三八、九〇
同新	五三、五〇	五四、〇〇
商船	六八、七〇	六八、九〇
同新	三二、九〇	三四、八〇
鐘紡	二二〇、五〇	二二〇、四〇
同新	一一三、九〇	一一三、九〇
東紡	一〇、〇〇	一三、九〇
東株	七〇、〇〇	六九、六〇
上取	六五、一〇	六四、八〇

銘柄	十五日前場引	十五日後場寄付
大株	一一三、〇〇	一一九、九〇
郵船	一三八、六〇	一三八、六〇
同新	五五、四〇	
商船	六八、七〇	六八、七〇
同新	三四、〇〇	
鐘紡	二二九、〇〇	二二五、一〇
同新	一二四、八〇	
東紡	六七、一〇	六八、七〇
上取	六七、一九	

大連株式特電

○十四日 寄付 止め
現當 三六、〇〇 三五、九〇
延先 三七、三〇 三六、二〇

安東株式特電

○十五日 寄付 大引
安取先 一八、四〇 一八、五一

米況（氣配呆）

仁川期米 十五日前場（氣配）

昨後場の引戻阪地の安移りと共に滿前の賣押へにて十九圓二十五錢と安値止めを演じ今朝引所阪地の安氣配を入れて今朝の人氣は減切軟弱の姿なりしが立會は公定買ひの降氣盛に當田來ざるも中十九圓五十錢先十九圓三十一錢と氣配ボケの六丁高に寄付きたり

▲第一節 當田來ざるも中五十五錢先二十八錢に始め○○の手詰めに六七錢を採合いし機先司の突進買いに引き立ち一十五錢と踏上げ日先手詰めに三十八錢と押しせしが押目は買殺へす四十八錢と氣丈に引
▲第三節 當田來ず、中六十錢と引

後場文挫折

▲第一節 當田來ず大阪前止め七圓二〇錢後分な四圓九十九錢な移し中一十四圓七十錢先七十九圓七十七錢高に寄付
▲第二節 當中田來ず先十九圓六十五錢
▲第三節 ...

期米雜觀

...

地方筋買潜む

今朝阪地の氣配安を受けしにも拘はらず人氣一變して寄付三十一錢と始め二節は更に五十五錢と騰騰を演出する等昨後場の引際阪地安に促がされたる賣過ぎ反動の關係もあるならんが全くは正米高に連れ地方玄人筋の買物潜み來れるミ推つて場二流筋の押目買ひを商持ちんなす向多きに起因する物々如く主れは月光入氣前に目して買込み踏ミ共に此邊戻り待ちの買物ミ取組を増加して新らたなる局面展開の機に移るにあらざるが

在米薄は依然

諸物價さ米價さの不均衡甚しきに連れ農家の賣惜みを余儀なくせる事は云ふまでもなく内地は非賣同盟を宣傳し益々農家の態度を硬化せしめんとするなり各集散市場の出廻期に際する仁川在庫數の如き去十三日までの調査に依つて見るも三等格九千八百二十二叺、地掛玄米七千七叺、白米二十一叺、一僅か五六千石に過ぎざる狀態にて端境期其の他の除去せざる折柄と云へ内地注文に對しても移せんか如何に商人の自辞心を活躍の歩を鉢からし居るの觀ば自然農家の態度に牽制され今一段の高値は免れざらん

大豆

過般來逆進百四十五五十丁の反撥を演せし本品は賣物悔と其れ買模様の揚句にて空賣筋の苦痛益々加はりつゝあるが如く本場建玉中金十一圓十錢の高値にて一束の解合ひ行はれたるなど手持筋の鼻息愈々荒く今朝は買潮一般高唱なりしが好でも物價は買附一巡の風情にて且つ正米氣配軟調を帶びたる等此邊進み人更になく事賣人氣は多少下押しの掛合ひにて金郊、汗浦十四七十錢の唱へで尤も多き如し

前場商内

十二月二十五日渡出來不申
一月末渡
玄米百石二〇、八五▲百石一二、一〇
一月十五日渡出來不申
玄米百石二〇、八〇▲二百石二〇、九〇

	銘柄	値段
帳入値段		二十四圓九十錢
出來高		二百石
十四日後場商内		

取組高

	玄米	白米	大豆
十二月末	五一百石	一百石	一百石
一月中			
一月末	五〇一百石		

組合役員會決議

昨十六日當組合役員會を開催し左の事項を協議決定せり
一、本品物延取引の爲す者は必ず豫納金を納入したる者に限る事
一、組合員にして現物取引をなし組合に屆出をなさざる者は組合員より規約に依る場合組合は其經費を徵收する事

内地正米持合

各地建物高を報ぜし内地正米も人氣漸く一般模様を呈し今朝は東京を始め大阪、兵庫共に持合ひを入れたり

	十四日後場	十五日前場
寄付	一九、七〇	
止め	一九、二〇	
安値	一九、五〇	
高値	一九、二〇	

仁川正米市場

天候の快晴と共に今朝は取の入荷加、當値買躍りなる阪地期正米の高移りに手持走賣急がず紳力六錢二三厘にて非々手合せ行はれ地掛玄米更に馳ます二十四圓五六十錢、三等格米筋四圓五十錢の三十錢騰を唱へられ前日比し三十錢高の氣配を呈せり

高一圓四五十錢

▲大豆は正米の躍騰と内地筋の買は前報後實騰しく一圓五十錢、長湍十京城の商内物十二圓五十錢、白川十一圓三十錢當なり

白米漸次引締

一、現行延取引非に十二月二十五日を以つて納會とする事

釜山正米特電

七十九錢安

氣配依然軟弱にして結局神力二十二圓七十八錢、發良二十四圓丁度にて一萬三千叺の商内あり

▲大豆 氣配手堅く京錢糧出廻り甚しく何しても品薄と臨因何の買物により三十錢高の十三圓丁度にて約八千叺の商内ありたり（十五日）

群山正米特電

一月中限二十一圓七十錢、現物二十七八十錢にて形勢もなく保合模様なり（十五日）

東京期米特電

	十五日前場 寄付	止め	十五日後場 先限
當限	二六、二五		二六、九五
中限	二六、二九		二七、一九
先限	二六、四九		二六、五一

大阪期米特電

○十五日前場
當限寄付 二十六圓四十八錢
同 止め 二十七圓〇九錢
中限寄付 二十六圓四十五錢
同 止め 二十六圓六十一錢
○十五日後場
當限 二十五圓九十九錢
中限止め 二十六圓二十錢

下關期米特電

○十五日前場

	寄付	止め
當限	三五、三	三五、三
中限	三五、二〇	三五、二〇
先限	三五、三〇	三五、二〇

○十五日後場

當限寄付	二十七圓四十八錢
中限寄付	二十六圓八十一錢
先限寄付	二十六圓九十八錢

各地期米特電

○十四日後場止め
東京 二六、一九　大阪 二五、〇〇
兵庫 二六、三九　下關 二六、一〇
桑名 二六、八三　名古屋 二六、一五
熊本 二六、九三　金澤 二四、六〇

大阪三品特電

○十五日前場寄付　前場大引
十二月限 一〇三、五〇
一月限 一〇三、〇〇
二月限 一〇三、〇〇
三月限 一〇三、〇〇
四月限 一〇三、〇〇
五月限 一〇三、〇〇
○十五日後場寄付
十二月限 一〇二、〇〇
一月限 一〇二、〇〇

横濱生糸特電

○十五日前場
當限寄付 一五二〇
先限寄付 一五二〇

京日案内

春川行 貸營車 京江自動車商會 京城黃金町三丁目百拾五番地

▲至急乳母入用 一新龍山ノ元町 ▲京城水標町三十七番地 田村商會

そば粉 速に粉類一切製造 不均迅速に 京城本町三丁目二十五番地 更科支店

大塚製粉所 南米倉町 電話参二参壹番

海東館 光化門郵便局ノ東門隣り 朝鮮料理 電話五八六番七二五番 宴會所・官上御下　百五十人收容

觀相 石龍子 京城本町五丁目八拾番地 酒井三郎太

產婆 私事此度大島方を辭し京城本町...

債權 ▲貸受 ▲買受 ▲不拘 ▲遠近 京城 取次電話二〇九三 平野操 公明社

北海產拴原木

自轉車歲末金融 熊野商會 京城古市町一八二 材木商

都合上 大見切賣致シマス 中古品モ澤山アリ トチ自轉車商會 京城南大門外

自轉車 最新式鬼タイヤ付 持賣品現金ニ十八圓ョリ 京城南大門外 トチ自轉車商會

店員募集 名五 十八歲より廿五歲まで 京城本町二丁目 佐藤 電話二四八番

店仕舞及讓店 御望ノ方ハ...

餅職人至急入用 三好野 京城本町一丁目

店員入用 保證人アル方 京城西小門町 篠崎商店 電話二四〇七番

縄 機 最廉價卸賣 自家用に最廉價貸附す

引取貸 千歲號 特約 大改正樣式 他の追從を許さざる

殖産工 大阪 京城 無代進呈

宮武テント商行 新界の權威 天幕日覆雨覆製造販賣 表飾・物質・茶ヲ 大阪市北區 電話長 九五五

軍政府定例會議

廣東軍政府は毎週月曜水曜金曜の三日を以て定例會議の爲め定りて洲職業會議を...

武市の近信

ブラゴエシチエンスク市の生...

廣告

來る大正十年一月一日新年祝賀の爲名刺交換會を開催し以て年始の禮に代へむとす御同意の諸君は左記事項御承知の上會費金七拾錢を添へ京城府廳庶務係へ申込まれ度し

元旦 京城名刺交換會 發起人

一 日時 大正十年一月一日午前十一時
一 會場 京城公會堂
一 申込者 住所職業(氏名原籍(寄留地)ヲ記入スルコト
一 申込期限 大正九年十二月二十八日限(期限經過後ハ一切謝絶ス)

京城府告示第二號 公設市場開閉時刻左ノ通改ム 大正九年十二月十五日 京城府尹 齋藤禮三
自大正九年十二月十五日 至大正十年三月三十一日 休業日午前六時ヨリ午後六時迄

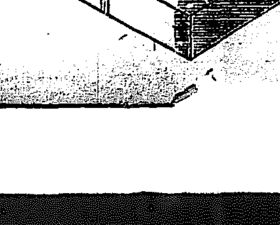
注意 ぢノ手術ハ肺病ヲ來ス恐アリ叉子孫ニ遺傳ス他ノ外用藥下痢劑ニ非ズ 切らずやかずに根本的に吞でなほるや家傳 梅毒丸 壹圓七十錢 肛門藥商會 湖南里 本舗

ぢ 如件 無効 藥價 返金ス 七日分 金壹圓參拾錢 送料 參拾錢

櫻正宗大賣出 年末年始御贈答用 醸造元直詰 壺詰には上下の口に醸造元の直詰の嚴封有之候に付御買求の節は該封紙に御注意を乞ふ

種類 五升壺詰 壹斗壺詰 其他樽詰瓶詰各種 發賣元 山邑酒造株式會社 京城支店

御進物は 今年も例年通り 實用第一の…… 化粧箱入 味の素を 御選定下さい 12—C



定價 一號金九十錢 二號金壹圓七拾錢 三號金貳圓五拾錢 四號金參圓廿五錢 五號金五圓 全國到る處の食料品店にあり

小人數 御家庭には 半樽、一升瓶詰

天下一品 宮内省御用達 キッコーマン 千葉縣野田町 野田醤油株式會社醸

撰造品出すご御注意 オキシパサー オキシパサー

本器は科學界の發見イケルフラ氏の發明に係りダイヤモンドの原理に基き大氣中の酸素を利用に使用治療法に...

定價金參拾九圓 血液の洗滌と體質の改造 虚弱者病者は一日も早く其苦悩を除かるべし

オキシパサー總代理店 龍山驛前 居森松次郎 電話九〇五 取扱店 京城府黃金町一ノ六〇 松本商店 電話三〇六 京城日報社代理部

東京府下 大日本オキシパサー商會

曙(あけぼの) 第二十回

德田秋聲
(插畫) 近藤紫雲

お須磨(二)

結婚當時はそんな事情もあつたし、十三四頃までは可也贅澤に育つたにせよ、女が眞實にお化粧をしようとする年頃には、お須磨は父の失敗から何彼につけて不足がちで、不滿々々で其日を暮して來た。殊に結婚期時代には、流行の半襟一つ買ふとも六しいような有樣であつた彼女にとつては、島家へ來て以來は急に衣裳が出來たり、髪のものや裝身具が思ふまゝに身に着けられたりするのが、さすがに嬉しくて、心配なうちにも氣の紛れるようなことが多かつた。それに實家は實家で久しく渇き切つてゐたところへ、急に纏まつた金が入つたので、お須磨の親たちも何かなし浮いたような氣になつてゐた『娘のお蔭で、お前さんは左團扇だね』など、彼の女の母親は近所の上さんたちにそんな事を言はれて、私かにほくそ笑を洩したりした。『私もまあ仕合せは仕合せだわね』お須磨はある時そんなことを言つて、母親と微笑さうに笑顔を見合せたりした。『女としては、まあこれを幸福だと思はなければいけないわ』獨りでぼんやりと文作の歸りを待つてゐる時など、お須磨はさうも思つたりした。それに又結婚式が可也派手だつたので、お須磨は惡る惡に驚されてゐるような厭な思ひのうちにも、何となく思ひがけない出世でもしたような氣がして、島家へ來てからも二月三月は、唯うか／＼と譯もなく日が經つたのであつた。

しかし、そんな騷ぎも落ち着いて、今まで動搖してゐた浪がすつと靜まつたような氣持になると、自分の一生といふことがお須磨にも少しづつ考へられるやうになつたのである。これまでは何の氣もなしに過ごして來た自分の生活と云ふことが、幾らかづつ分つて來るやうに思へたそして三千圓といふ金のために買殺しにされたような自分の生涯であると思ふと、彼の女は情ないような氣もするのであつた。三千圓と云へば結婚しない前には、ざも／＼大金のように思はれてゐたが、島家へ來てみると、そんなものは何でもないと思ふようになつた。金の價値が、この家で考へるのと、自分の家で思ふのと、大分相違があると彼女は思つた。『ほんとに瀰らない』お須磨は『どうかすると、そんなことを考へ／＼して、一人で鬱いでゐることがあつた。

殊に若主人の辰衛が外國から歸るといふ報せがあつてから、更に、愈々其の人が歸つてからの絢子のそは／＼した嬉しさうな顔を見たり、若い夫婦の睦まじさうな樣子を見たりすると、お須磨は一層自分の身の周りが見廻されるのであつた。『何といふもの淋しい私の影だらう！不自由はないと云つても私は矢張り何かしらもの足りない』と、お須磨は人知れず溜息を吐いたりした。絢子のことが矢鱈に羨ましくてならなかつた。年齢にも風彩にも、さうして氣分にも不足のない良人をもつてゐる絢子の生活が、妬ましくてならなかつた。『旦那さまがお歸りになつたので、貞子さんまでが元氣づいてゐらつしやいますね』洋館の方へ遊びに行つた時、お須磨は絢子にそんなことを言つたりした。

絢子はお須磨が此家へ來てからは、今まで空けたなりでゐた洋館の方へ、急に寢泊りをするここにしてゐた。辰衛が歸つてからも夫婦はずつと其館へ寢たある日、絢子が洋館の寢室の窓を開け放して、朝の空氣や日光を入れたり、女中に指圖してそこらを掃除させたところへ、お須磨は何の氣なしに其室へ入つて來た。

『まあ、明るくつて、暖かさうで綺麗なお部屋ですこと』お須磨は仰山らしく目を見張りながら、入口に突立つてゐた。

入荷 タオル、手拭 風呂敷、袱紗 カレンダー
原紙、雜具、雜貨、卸商 京城明治町二丁目 (大)富澤商店 電話二〇二一番 振替一〇四一六

京城明治町 產科婦人科 中央婦人病院 院長 衣笠舜山 電話五三四〇

新刊紹介

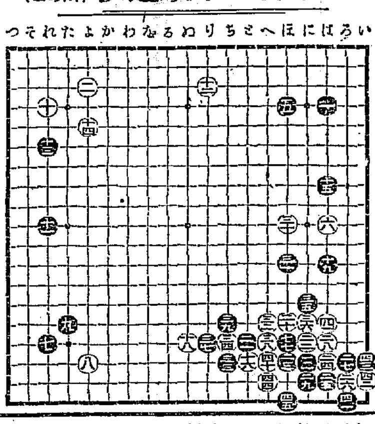
▲寶生活(十二月) 特別附錄さして常平倉問題、國體にマスクな、忠臣藏の辨護(四十錢東京京橋區出雲町其社)
▲まなびの友(一月) 小學生の家庭の讀物として、お誂へ向き、附錄は例に依つて雙六(三十錢東京雜司ヶ谷婦人之友社)
▲愛の友(一月) 見るからに氣の利いた子供雜誌、雙六も添へてある(二十五錢東京澁谷文教社)
▲子供之友(一月) 附錄にはハタラキ雙六がある綺麗な雜誌(三十錢東京雜司ヶ谷婦人之友社)
▲日の丸(一月) 面白くて爲になる美しい雜誌、雙六の附錄もある(三十錢東京澁谷文文社)
▲戰友(十二月) 八錢東京麴町區飯田町帝國在鄕軍人會
▲朝鮮實業俱樂部會報(十一月) 五十錢京城長谷川町共俱樂部
▲朝鮮遞信協會雜誌(十一月) 二十五錢朝鮮遞信協會
▲ジャパンタイムス少年號(十二月) 東京麴町區内幸町ジャパンタイムス學生號發行所
▲實用英語(十二月) 三十錢東京神田區小川町甲賀出版社
▲海友(十一月) 大連市寺内通大連海務協會
▲黒白(十二月) 十五錢東京々橋區築地共發行所
▲教育詩論(十二月五日) 十八錢東京麴町區飯田町同發社
▲國民精神(俳句研究號) 二十錢東京麻布區宮村町共社
▲水產界(十二月) 三十錢東京赤坂區溜池町大日本水產會
▲外交時報(十二月) 四十錢東京麴町區下二番町共社
▲詩林(十一月) 五十錢東京神田區東紅梅町共社
▲有効の活動(十二月) 三十錢東京小石川區大塚坂下町柔道會本部
▲上海渡航の栞(平野健氏著) 名の如く上海渡航者の便利を目的とし交通市況通信衛生教育其他凡ゆる事項を網羅し小冊子ながら十分に其の要領を盡してゐる(二圓上海日本堂中江堂(至誠堂))
▲實業之日本(十二月一日) 民心を如何に指導すべきか、現物市場改

皮膚科 徽毒 (診察夜九時迄)
皮膚病 徽毒 麻病 (入院隨意)
京城明治町二丁目 佐藤醫院 電話一〇七參

▲市内に外國人或は日本人にても宜しいが獨逸語學(會話を含む)の教授せらるゝ方はありませんでしようか但し夜學さして頂きたいのです(若龍山の青年)
▲私は十三歳の折學校にて右手を折り治療の結果すつかり治つた樣でしたが此頃の寒さにペンを取つて居りますと自然に手が冷却して來て困つて居ります何か治療しなければいけないでせうか御教示を願度う御座います(十九歳の妙子)

六華會青年敗退棋 (第十三回)

(瀬尾氏二回勝) (第三回目)
先々先 先番 二段 小杉丁
一段 瀬尾浩



●三一ほ十二 ○三二へ十五 ●三三ち十七 ○三四ち十六
●三五に十四 ○三六に十五 ●三七り十六 ○三八へ十六
●三九ち十五 ○四〇へ十七 ●四一ろ十九 ○四二い十八
●四三い十七 ○四四へ十八 ●四五ほ十五

ドラッグに就て警告

商會專用の商標は登録濟

同一又は類似の商標を使用、偽造、模造する者、廣告、看板、引札等に使用する者は五年以下の懲役又は千圓以下の罰金に處せらる

大阪市東區内本町二丁目拾壹番地
合資會社 ドラッグ商會
有田音松

破竹の勢ひを以て蔓延し、益々國民を遲うしつゝある花柳病毒を撲滅して、聊か天下國家の爲めに盡さんことを期し、花柳病專門藥劑ドラッグ商會が設立したのは、今を去る十有三年前である。

云ふ迄もなく花柳病の豫防は各自の衛生思想に待たねばならぬ。花柳病は他の傳染病と異なり各自が謹愼して危險なる地域に踏み込まないならば傳染する憂は毫もない。で、商會の目的を達する捷徑は、衛生思想を發達せしむるに限るを信じ、商會の製劑販賣所に病理模型を陳列して、一般公衆に展覽せしめ、花柳病の恐るべきことを示したのである。百聞は一見に如かずとやら、商會の病理模型を實見して花柳病の恐るべく忌むべき病なることを具體的に知り得たるもの極めて多く、且機關新聞や全國有數の新聞紙上に衛生思想を鼓吹せしことは世間周知の如くである。此に於てか商會の事業は日に月に發展して全國到る處の都市に製劑販賣所を設置し、今や其數四百有餘の多きに達しぬ。

商會を今日の隆運に赴かしめた予の苦戰奮鬪は決して尋常一樣ではなかつた、一例を擧ぐれば新聞廣告費のみにても既に數百萬圓の上に出で、目下毎月二萬圓以上の廣告費を支出して居る、商會の製劑が有効なのと、誠意を以て衛生法を説き、治病を目的として懇切叮嚀に病者に接して居るので、商會の名聲が頓に擴まり、三尺の童子に至る迄ドラッグの名を知らぬものはないまでになつた、此に於てか人の褌で角力をとるべく、新聞廣告もしないで、ドラッグを標榜して、店舗の構造、陳列室の設備、屋上の看板等に至るまで、商會と同型の物を製し、一見眞偽を判別し難く設備し、信用ある商會と誤信せしめ一般の患者を惑はすものが出來た、之を放任する時は商會の信用を失墜し、就いて商會の目的を貫徹することが出來なくなるので、商會の製劑とにせ物とを區別し、商會の製劑を表彰する爲め、專用の商標登録を特許局に申請した。

特許局に於て審査の結果、登録すべきものと査定せられ、商會の商標は登録せられた、故にドラッグの商標及びこれに類似の商標は、他の者が絶對に使用することは出來ないのであるから、將來商會特効の製劑と一般賣藥とを判然區別することが容易である。

商會は一網打盡的に、商會の登録商標と同一の商標を使用し居る者、偽造し居る者、模造し居る者、廣告、看板に使用し居る者等を、商標法第三十三條第二項に依り告訴する時は、同條第一項に依り五年以下の懲役又は千圓以下の罰金に處せらるべきも、商會は彼等を罪に陷らしむるに忍びないので紙上にて彼等に警告し、彼等をして其行ひを改めさせようと思ふのである。左に商標法の概要を摘録しやう。

□□□□□□ 商標法 □□□□□□

第三十三條 左の各號の一に該當する者は五年以下の懲役又は千圓以下の罰金に處す
一、二、三、四、五、六、七略
八、同一商品に關し他人の登録商標と同一又は類似のものを營業に用ゐる廣告、看板、引札、物價表又は其他の取引書類に使用したる者
前項の罪は告訴を待て之を論ず
□□□□□□

目下各地に於て、商會の登録商標を侵害して居る者は頗る多い、今一例を擧ぐれば

ドラッグ商會 東京ドラッグ 大阪ドラッグ 日本ドラッグ トラック

等の屋上看板を揭げて營業して居るものは、商會の登録商標を侵害して居るのであるから、此等の廣告者は一日も早く抹削せねば止むなく告訴する。

商會は上述の如く、出來得る限り人を罪に陷れたくないので寛仁なる意志を以て此警告を發表する、故に廣告又は廣告看板からドラッグ商會の文字又は類似の文字を抹削すれば、既往の罪を追窮しない、けれども頑迷不靈此警告に覺醒しない者に對しては止むなく法律の制裁を仰がねばならぬ。

尚ドラッグの事業は有利である杯と吹聽し、支店とか分店とかを募集する者がある、地方の質朴なる人士が、信用ある我商會と聯絡あるものゝ如く誤信し、資本を投じて開店すれば、忽ち登録商標權侵害となり、當商會より告訴すれば忽ち罪人とならねばならぬ、であるから此點からも一般世人に警告する必要がある。

之を要するに「ドラッグ商會」の商標は、商會の專賣所以外の者は絶對に使用することが出來ないと云ふことを心に銘じて忘れなければ間違はないのである。

一瞥の魅力は一滴の……

日本に初めて出來た

純白美乳

幸福の第一歩見合ひに成功する秘訣

十一月から十二月へかけては婚禮月と言はれてゐますが一歳でも若く處女の誇を持つて入輿したいのは人情―こゝろで其幸福の第一歩たる見合に成功する秘訣として評判の純白美乳をお勸め致します。白粉を塗り立てたのは近代教育を受けた男の好まぬ所。それに反して純白美乳は生地から色を白く美しくしますから誂向殊に一滴ですぐお顔を整へられる故いざといふ時お役に立ちます (定價二十五錢)

の効果を俟つて初めて對者を艶殺せしむるに足るべし

美乳本舗 矢野芳香園

(150)

喜びの訪づれ

あゝ喜びの訪づれ!! 人は身に患ひ無くして心澄む程愉快なるは無し胃を惱むもの一見やまひ無きに似て心に憂を帶び、顔蒼白を漂はす、働きに勇なく動くに元氣なし。惱める人々よ速かにホシ胃腸藥を召したまへ。

赤い罐

ホシ胃腸藥

定價 廿錢 五拾錢 一圓

資本金壹千萬圓
東京京橋
星製藥株式會社